

<別添資料 1>

平成30年度
年間事業報告

(案)

社会福祉法人 晴智会

特別養護老人ホーム 晴和苑

(介護老人福祉施設・短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護・新座市生活支援短期入所生活介護)

老人デイサービスセンター 晴和苑

(通所介護・日常生活支援総合事業・新座市生活支援事業・新座市訪問給食)

グループホーム 晴和苑

(認知症対応型共同生活介護・介護予防認知症対応型共同生活介護)

社会福祉法人 晴智会 晴和苑 居宅介護支援事業所

(居宅介護支援)

介護予防支援事業所 晴和苑

(介護予防支援)

新座市北部第一高齢者相談センター

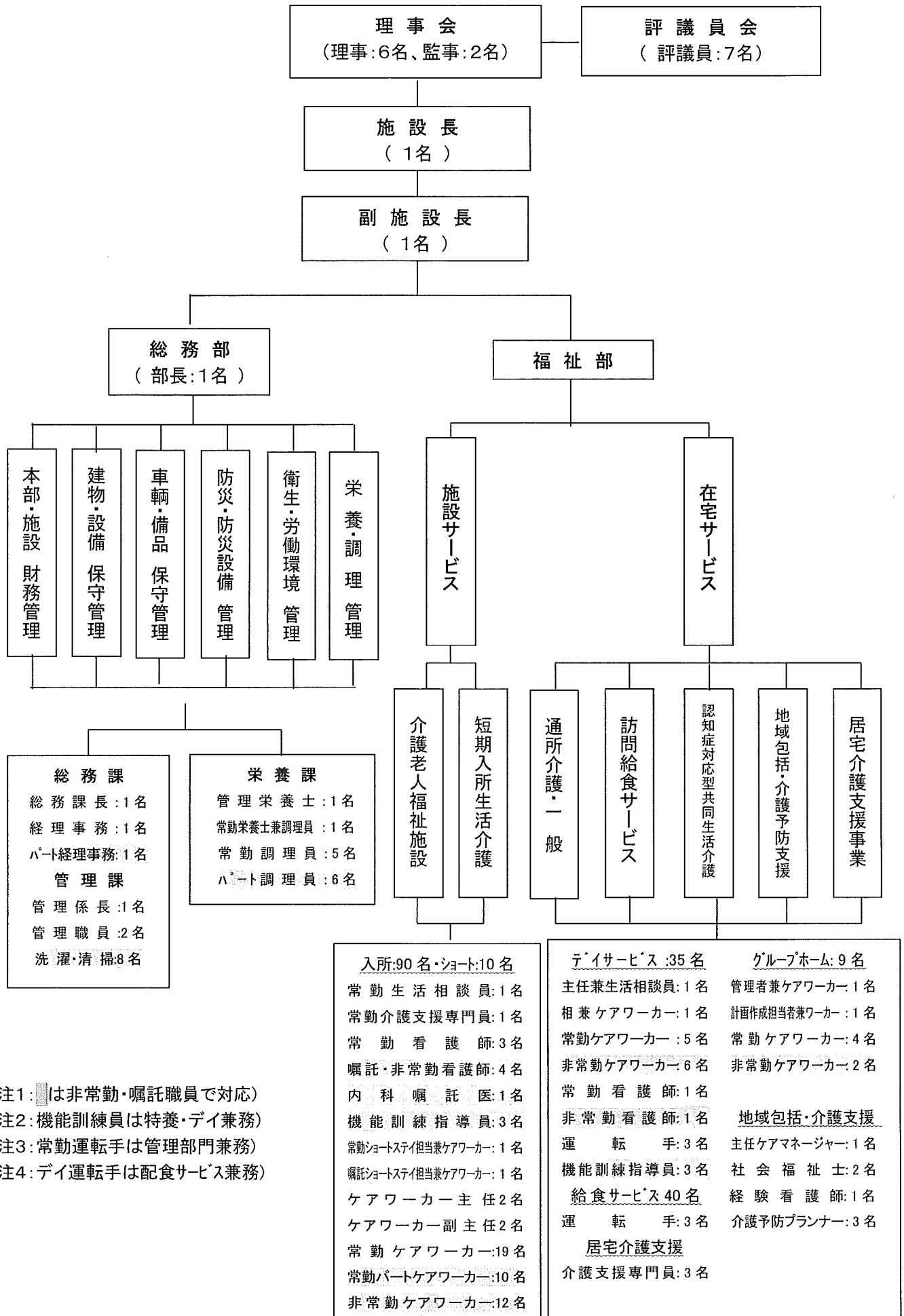
(新座市地域包括支援センター)

< 目 次 >

1	: 平成 30 年度 当初組織表	P 1~P 2
2	: 法人及び事業経営の基本理念・基本方針等	P 3
3	: 平成 30 年度 総務部 事業報告	P 4~P20
	■ 晴智会・晴和苑事務分掌表	(P 5~P 7)
	■ 会計組織表・苦情処理体制組織表	(P 8~P 9)
	＜総務課：P10~P12＞	
	■ 総務部総務課実績報告	(P10~P11)
	■ 総務部経理事務担当年間実績表	(P12)
	＜栄養課：P13~P20＞	
	■ 基本方針・事業評価・衛生管理実績	(P14)
	■ 月間及び年間事業予定・実績表	(P15)
	■ 平成 30 年度 食事摂取状況・部署別食数集計表	(P16)
	■ 食材費及びおやつ単価表・行事献立表	(P17~P19)
	■ 栄養ケア・マネジメント事業報告	(P20)
4	: 平成 30 年度 福祉部 事業報告	P21~P52
	＜施設サービス課：P22~P37＞	
	■ 担当職種別年間目標・評価	(P23~P25)
	■ 利用状況・年間ベッド稼働率	(P26~P27)
	■ 受診・入院状況	(P28~P29)
	■ 職員研修報告	(P30)
	■ ボランティア・地域交流、クラブ、療法、理美容、実習等実績表	(P31~P35)
	■ 彩の国あんしんセーフティーネット事業報告	(P36)
	＜在宅サービス課：P37~P52＞	
	■ 通所介護部門年間総括・重点目標評価	(P38)
	■ 通所介護部門利用予定・実績一覧	(P39)
	■ 通所介護部門各種統計報告	(P40)
	■ 通所介護部門年間行事報告・クラブ等活動実績	(P41)
	■ 認知症対応型共同生活介護部門事業報告	(P42~P44)
	■ 居宅介護支援部門事業報告	(P45~P50)
	■ 地域包括支援センター・介護予防支援事業部門事業報告	(P51~P55)

尚、本事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の付属明細書は作成しておりません。

平成30年度 社会福祉法人 晴智会 晴和苑 組織表



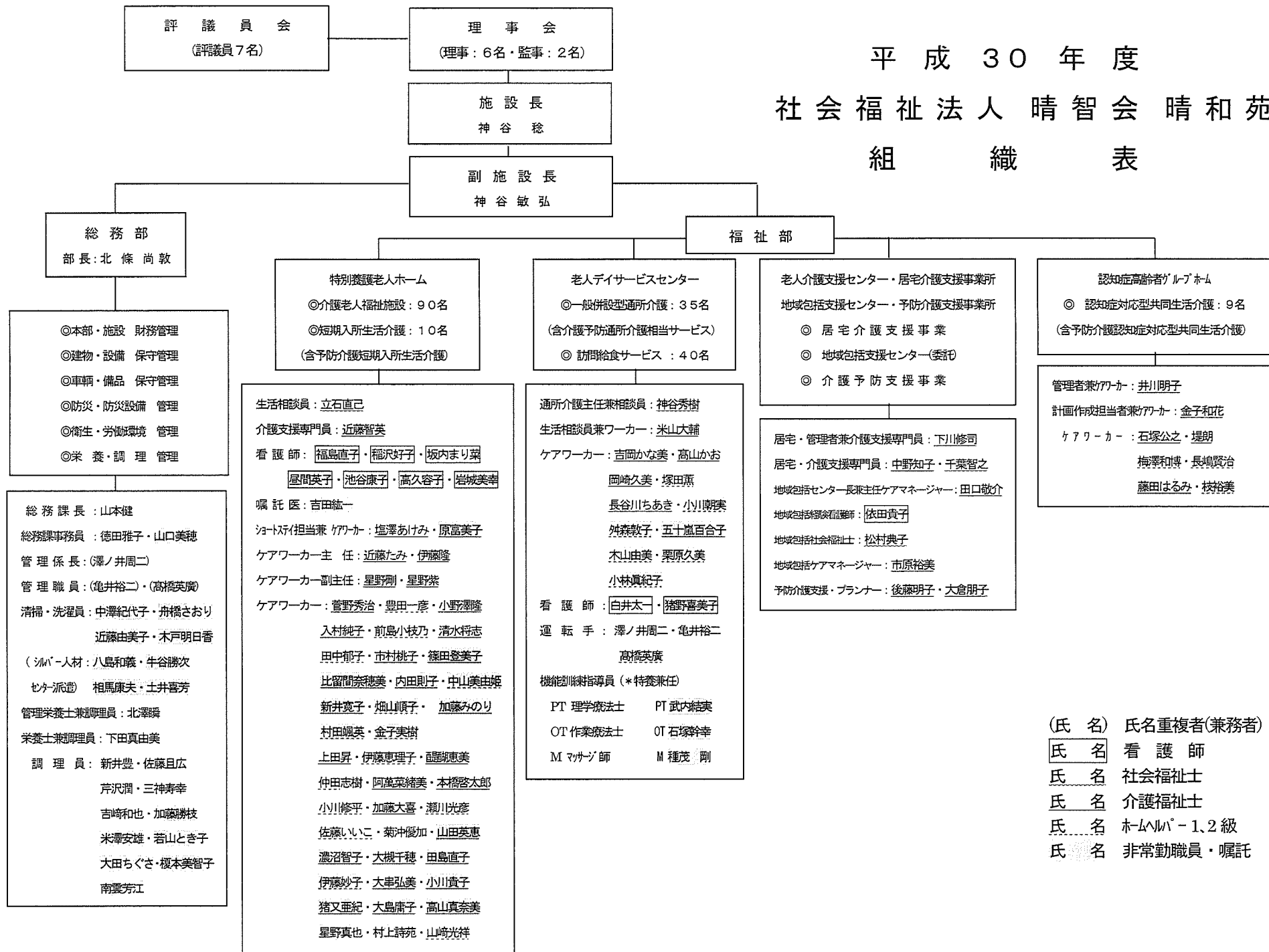
(注1: 〇は非常勤・嘱託職員で対応)

(注2: 機能訓練員は特養・デイ兼務)

(注3: 常勤運転手は管理部門兼務)

(注4: デイ運転手は配食サービス兼務)

平成30年度 社会福祉法人晴智会 晴和苑 組 織 表



(氏名) 氏名重複者(兼務者)
氏名 看護師
氏名 社会福祉士
氏名 介護福祉士
氏名 ホームヘルパー1,2級
氏名 非常勤職員・嘱託

社会福祉法人 晴智会 晴和苑

《 法人及び事業経営の基本理念 》

「明るく、楽しく、地域とともに歩む総合高齢者介護施設」

～ 人と、人とが、互いを人として認め合い、支え合う、豊かな時間と空間の創造 ～

《 基本方針 》

①「お客様の心をつかむサービスの実践」

- ・ これからの福祉の世界において、ご利用者は「来る」のではなく「つかむ」のである。
ご利用者が自分にとって最適のサービスを選択できる時代になったことを職員一人一人が再認識し、ご利用者のニーズを可能な限り満たした「選ばれるサービス」の提供を実践し、常にコストを意識した経営に努め、各事業運営の組織体制及び施設環境の見直しと向上を図る。

②「最も良質の福祉サービスを提供できる雇用管理体制の創造」

- ・ ご利用者のニーズを十分に反映した均一で最良のサービスを確保するために、職員のモラルを高め、各部署及び職員個々の創意工夫や努力が適正に反映されるような雇用形態の実現を目指し、組織の再編や諸規程の見直しを積極的に行い、福利厚生制度や研修体制等も含めた職場環境が良好に保てるように努める。

③「限りある法人資産を最も効率的に活用し、地域福祉の財産として生かす法人経営」

- ・ 法人の各事業の安定した経営の維持と、地域やご利用者からの信頼と恒常的な利用の確保のため、データ分析及びモニタリング、マーケティング等を積極的に行い、サービスの質の維持・向上はもとより、事務処理及び連絡調整、クレーム処理等を迅速且つ的確に対応する体制の確立・保持に努める。

④「プロフェッショナルとしての自覚と行動」

- ・ 職員一人一人が、介護サービス提供のプロフェッショナルとしての自覚と誇りを忘れず、常に責任をもって行動する。

< 私たちはプロです!! >

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| ◎ プロは明確な目標 | ● アマは曖昧な目標 |
| ◎ プロは自分でシナリオを書く | ● アマは他人のシナリオが気になる |
| ◎ プロは思い信じ込める(プラス思考) | ● アマは不信感が先に出る(マイナス思考) |
| ◎ プロは使命感で最後までやり遂げる | ● アマは途中で投げ出す |
| ◎ プロは自信と誇り | ● アマは愚痴っぽい |
| ◎ プロは成長を求め続ける | ● アマは現状に甘える |
| ◎ プロは時間を有効活用 | ● アマは時間の観念なし |
| ◎ プロは成功するまで努力 | ● アマは失敗を恐れる |
| ◎ プロは可能性に挑戦 | ● アマは経験に生きる |
| ◎ プロは常に自己鍛錬 | ● アマは気紛れ |

平成 30 年度

総 務 部

年 間 事 業 報 告

社 会 福 祉 法 人 晴 智 会

晴 和 苑

社会福祉法人 晴智会 晴和苑 事務分掌表

(事務局：平成30年 4 月 1 日)

《 総 務 部 》

職 名	氏 名	事 務 分 掌
施 設 長	神 谷 稔	・ 法人及び各施設・事業所の全体の総括
副 施 設 長	神 谷 敏 弘	・ 施設長の業務全般にわたる補佐 ・ 総務部長・総務課長の業務全般にわたる補助
総 務 部 長	北 條 尚 敦	・ 事業実施等について行政機関及び外部団体等との連絡調整・届出・報告に関すること ・ 理事会・監事会・評議員会に関すること ・ 寄付に関すること ・ 補助金に関すること ・ 職員（パート含）採用・退職に関すること ・ 職員の任用・昇給・昇格・降格に関すること ・ 研修及び出張命令に関すること ・ 入所者家族等の苦情・相談の窓口
総 務 課 長	山 本 健	・ 法人及び各事業所の財務全般に関すること ・ 給与・賃金に関すること ・ 職員の勤務及び福利厚生に関すること ・ 福祉医療機構退職手当共済及び埼玉県社会福祉所行共助会に関すること ・ 法人内の全ての会計に関すること（小口現金含む） ・ 固定資産の事務に関すること ・ 事業所内ＰＣシステムの管理及び関連事務に関すること ・ 補助事業申請に関すること ・ 諸規定の管理に関すること ・ 公文書の收受・決済・発送に関すること ・ 各種届出・証明書の発行に関すること ・ 文書の浄書に関すること ・ 来客受付及び会議に関すること
管 理 係 長	澤 ノ 井 周 二	・ 固定資産・備品の管理に関すること ・ 固定資産物品台帳及び備品台帳の記載に関すること ・ 備品、消耗品及び被服類の発注及び管理に関すること ・ 災害・防火・防犯に関すること ・ 職員の保健衛生及び健康管理に関すること ・ 車両管理及び運転業務に関すること ・ 貸しオムツ及びびりネンの管理事務に関すること
事 務 員 (経理事務担当)	徳 田 雅 子	・ 法人の全ての会計に関すること（小口現金含む） ・ 切手類の管理に関すること ・ 図書及び被服類の発注に関すること ・ 業者への支払事務に関すること ・ 介護保険報酬及び利用料等の報告・請求に関すること ・ 介護保険事業のデータの管理に関すること

社会福祉法人 晴智会 晴和苑 事務分掌表

(事務局：平成30年 4 月 1 日)

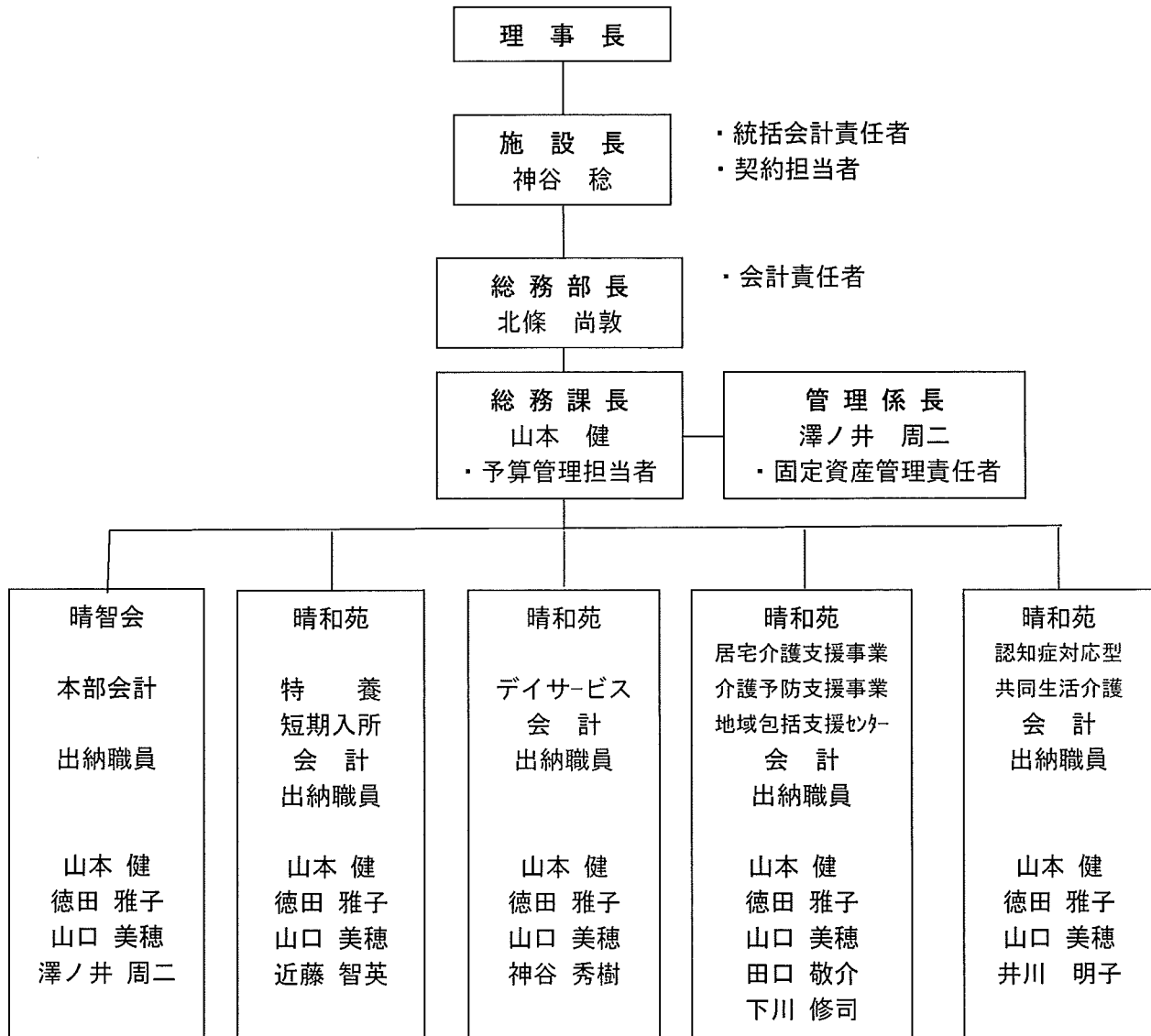
《 福 祉 部 》

職 名	氏 名	事 務 分 掌
特養介護支援専門員	近 藤 智 英	・施設サービス部門のサービス提供業務全般への指導・助言に関する事 ・施設サービス計画の作成に関する事 ・利用者関係の統計に関する事
特養生活相談員	立 石 直 己	・入所申込・契約の調整及び利用者に関する連絡調整・報告等に関する事 ・入所者家族等の苦情・相談の窓口
特養看護主任	福 島 直 子	・入所者の医療・看護業務に関する事 ・入所者及び職員の健康管理・健康診断に関する事
ショートステイ担当 兼 特養ケアワーカー	塩 澤 あけみ 原 富美子	・居宅サービス計画の作成及び予定・実績の管理に関する事 ・ショートステイ利用の調整及び予定・実績の管理に関する事 ・在宅サービス部門の他事業所との連携に関する事 ・ボランティア受入・対応に関する事
特養ケアワーカー主任	伊 藤 隆 近 藤 た み	・特養フロア利用者の介護業務全般に関する事 ・職員育成に関する事 ・実習生・訪問等受入に関する契約・予定作成・連絡調整及び指導・評価に関する事 ・特養フロア利用者の介護業務全般に関する事 ・職員育成に関する事
特養ケアワーカー副主任	星 野 剛 星 野 紫	・担当フロアにおける利用者介護業務に関する主任の補佐 ・職員育成に関する事
デイサービス主 任 兼 生活相談員	神 谷 秀 樹	・通所介護の業務全般の管理に関する事 ・利用申込・契約の調整及び利用者に関する連絡調整・報告等に関する事 ・通所介護サービス計画の作成及び予定・実績の管理に関する事
介護リーダー 兼 生活相談員	米 山 大 輔	・利用者の介護業務及び職員の人材育成に関する事 ・実習生及びボランティアに関する事 ・通所介護サービス計画の作成及び実績に関する事 ・通所介護の業務全般の管理に関する主任の補佐
グループホーム管理者 兼 ケアワーカー	井 川 明 子	・認知症対応型共同生活介護業務全般の管理に関する事 ・利用申込・契約の調整及び利用者に関する連絡調整・報告等に関する事 ・介護サービス計画の作成及び予定・実績の管理に関する事 ・利用者預り金等の管理に関する事（小口現金含む）
グループホーム管理者 兼 ケアワーカー	金 子 和 花	・認知症対応型共同生活介護業務全般の管理に関する管理者の補佐 ・利用者に関する連絡調整・報告等に関する管理者の補佐 ・介護サービス計画の作成及び予定・実績の管理に関する事

居宅介護支援事業所 管理者 兼 介護支援専門員	下 川 修 司	・ケアプランの作成及び予定・実績の管理に関する事 ・利用者及び相談者に関する連絡調整・報告等に関する事 ・サービス提供事業者等との連絡調整に関する事 ・事業所介護支援専門員の業務調整及び相談・助言に関する事 ・在宅サービス部門各事業所の事業経営に関する指導・助言 ・在宅サービス部門各事業所のサービス計画の作成及び予定・実績の管理に関する指導・助言
地域包括支援センター長 (主任ケアマネージャー) 兼 介護予防事業所管理者	田 口 敬 介	・新座市及び他のセンター及び事業所との調整・連携等に関する事及びその為のセンター職員への指導・助言・介護相談等に関する連絡調整・報告等に関する事 ・介護予防事業の利用等に関する連絡調整・報告等に関する事 ・介護予防プラン作成の為の連絡調整及び助言に関する事 ・介護予防プランの予定・実績の管理に関する事
地域包括支援センター 社会福祉士	松 村 典 子	・介護相談等に関する連絡調整・報告等に関する事 ・介護予防事業の利用等に関する連絡調整・報告等に関する事 ・社会福祉士等相談業務担当者養成実習及び訪問等の受入に関する契約、予定作成及び連絡調整
地域包括支援センター 経験看護師	依 田 貴 子	・介護予防事業の利用等に関する連絡調整・報告等に関する事 ・介護予防プラン作成と連絡調整に関する事

社会福祉法人 晴智会

会計組織表



統括会計責任者・・・法人内全体の会計を統括し、理事長の任命する会計責任者にこれらの事務を行わせるものとする。

契約担当者・・・理事長から契約に関する権限の委任を受け、当法人の機関として法人のための契約を行う。

会計責任者・・・自ら各会計区分における資産の保管及び帳簿その他の証憑書類の保存等会計書類に関する事務をつかさどり、又は、理事長の任命する出納職員にこれらの事務を行わせるものとする。

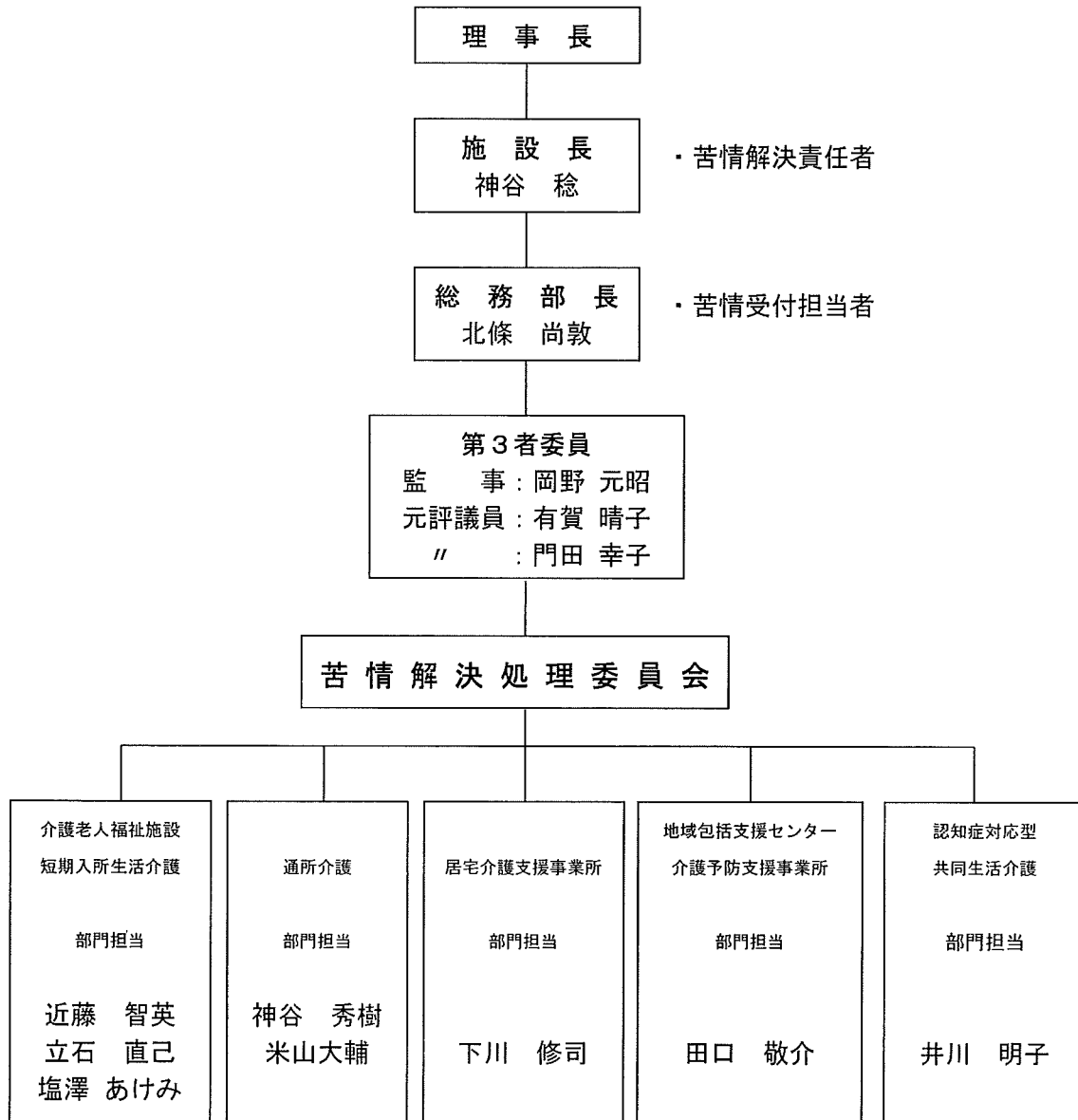
予算管理者・・・自ら各会計区分の予算の編成・執行・管理をつかさどるものとする。

固定資産管理担当者・・・自ら各会計区分の固定資産の現物管理をつかさどり、保全・異動状況の管理及び固定資産・棚卸し資産の棚卸しを行なうものとする。

出納職員・・・会計責任者の補助者として、取引の遂行、資産の保管及び帳簿その他の証憑書類の保存等会計処理に関する事務を分掌する者、又は、契約担当者の補助者として、契約に関する事務を分掌する。

社会福祉法人 晴智会

苦情処理体制組織表



苦情解決責任者・・・法人内全体の苦情解決の責任主体として対応を統括する。

苦情受付担当者・・・担当者として苦情を受付、苦情内容及び利用者の意向の確認と記録を行い、受け付けた苦情及びその改善状況等の苦情解決責任者及び第三者委員への報告を行う。

部 門 責 任 者・・・自らの担当する部門の苦情解決に際し、苦情受付担当者を補助する。

<施設以外の相談・苦情窓口>

◎ 新座市役所 介護保険課

TEL 048-477-1111

◎ 埼玉県国民健康保険連合会 介護保険課 苦情対応係

TEL 048-824-2568 FAX 048-824-2561

【 総務部総務課実績報告 】

平成30年度人材確保の面では、残念ながら年度途中に退職する職員が多く、その数は常勤・非常勤問わず21名という膨大な人数に及びました。

そのうち9割程度は人材紹介会社などを使ってその補充することができましたが、今なお3名程度の職員が不足し、苦渋の決断ではありますが、ショート・ステイの一部利用制限をかけなければいけない状況が続いています。

その結果、人材を確保するための人材紹介会社に支払った金額などで平成30年度の決算内容に多大な影響を与えることになってしまい、大変申し訳なく思っている次第です。

当法人では以前より、ハローワーク・民間会社の求人、県社会福祉協議会主催の求人ブースへの参加、高校・専門学校・大学等への学校訪問、ホームページやSNSを通じた求人活動を積極的に行っておりますが、その根本的な打開策を見出せずにいるのが現状です。

これらを踏まえると、今後当法人のみならず人材不足に悩んでいる介護業界では、不況等の影響で資金繰りがうまくいかず倒産に至るケースより、人材不足で経営を円滑に運営することができずに倒産するケースが増えることが考えられます。

つまり、極端な言い方になってしまいますが、人材を円滑に確保できる法人は生き残り、人材を円滑に確保できない法人は淘汰されていくということが考えられるのではないかと思います。

法人経営において、重要なことは何でしょうか？

『法人にお金を残すこと』、これは法人経営においてはイロハのイであり、とても重要なことです。

『法人設備の入れ替え・法人施設の修繕を行うこと』、利用者様の利便性・安全性を考慮すればこれもまたとても重要なことです。

では、上記2つの法人経営における重要事項を遂行するために必要なことは何でしょうか？

『安定的な収入を得ること』、円滑な法人経営を行うことで安定した利益を得ることです。

円滑な法人経営を行うためには、業務を遂行する安定的な人材確保・人材定着は欠かせません。

安定的な人材確保、人材定着が出来ることで、初めて『法人にお金を残す』ことや『法人設備の入れ替え・法人施設の修繕を行う』ことが出来ると考えられるのではないのでしょうか。

また、人材確保・人材定着が出来なければ、ご利用者様に対しても快適で満足頂けるサービスを提供することは出来ません。

そして、快適で働きやすい職場環境を整えなければ、人材確保・人材定着という目的は叶いません。

現在当法人ではこのことを重点課題として鋭意努力しておりますが、まだまだ道半ばであり、恥ずかしながらすべての職員に満足してもらえる・高いモチベーションを持ち続けていられる職場環境とは、いい難い状況です。

来年度以降、少しでも職場環境が変わった・もっと法人のために頑張ろうと考える職員が増えていくよう、当法人で働きたい・働かせて欲しいという求人者の応募があるよう一歩ずつ遅滞なく堅実に法人として成長していければとかがえております。

平成30年度 社会福祉法人 晴智会 晴和苑 総務部経理事務担当 年間実績表

総務部経理事務関連：年次処理実績等					
4月	1	・新人職員入職オリエンテーション	9月	7	・埼玉県社会福祉事業共助会算定基礎届提出処理
	6	●H29 度埼玉県民間社会福祉施設整備促進資金償還金補助金実績報告書提出(県庁)		18	・職員定期健康診断(夜勤対応職員対象)
4月	13	・H30 年度分施設入所者状況表作成→提出(県庁)	10月	1	・在宅介護支援センター常務実態調査票提出処理(全国在介センター協)
	27	・事業団共済対象者名簿提出処理 ・福利厚生センター加入更新手続処理 ・H29 年度決算関係書類作成処理 ・H29 年度事業報告書作成処理 ・新座市H29 年度老人介護支援センター分事業実績報告処理		31	●認知症高齢者グループホーム外部評価訪問調査(県社協) ●介護サービスの事業情報の公表実地調査(県社協) ・H30 年度施設等調査票提出処理(厚生労働省) ・H30 年度介護サービスの施設・事業所調査票提出処理(厚生労働省) ・従業員過不足実態調査表提出処理(厚生労働省) ・介護事業所基礎調査票提出処理(厚生労働省)
5月	31	・H28・29 年度分労働保険料申告処理(労基署)	11月	16	○防災訓練(夜間想定)
6月	2	●法人監事監査		30	・新座市在宅サービスH30 年度事業協議 ・H30 年度指導監査事前資料提出処理(県庁)
	3	☆第25 回新座市福祉フェスティバル参加(福祉の里)	12月	21	●施設指導監査(県庁)
6月	6	●理事会(前年度決算・事業報告→資産変更登記)		31	・H30 年源泉所得税年末調整処理 ・介護サービスの供給量調査票提出処理(県庁)
	15	○防災訓練	1月	31	・H30 年分給与支払報告書提出処理(各市町村)
6月	21	●評議委員会(前年度決算・事業報告→資産変更登記)	2月	1	●法人役員・職員新年懇親会(ベルセゾン)
	29	・H30 年度施設指導台帳提出処理(県庁) ・H30 年度法人現況届提出処理(新座市役所) ・H29 年度監査報告書提出処理(新座市役所) ・法人資産変更登記手続処理		8	・H31 年度予算(H30 度補正予算)案作成処理
7月	2	・H30 年度民間福祉施設職員給与実態調査票提出(県庁)	3月	28	・H31 年度事業計画案作成処理
	6	・社保算定基礎届提出処理(川越年金事務所)		13	●理事会(H31 年度予算・事業計画等)
7月	22	○晴和苑夏祭り		19	・職員定期健康診断(全職員対象)
	31	・全国老協H30 年度収支状況等調査票提出処理 ・公益法人等収支計算書提出処理(朝霞税務署) ●H29 年度介護職員処遇改善加算実績報告書提出(県庁)		28	●評議委員会(H31 年度予算・事業計画等)
7月				31	・H30 年度決算処理開始 ・建物及び車両等メンテナンス

総務部経理事務担当関連：月次処理実績等			総務部経理事務担当関連：日次及び即時処理実績等		
1～5	介護報酬等請求処理	・給付管理票等集計・確認・訂正	日次	財務会計処理	・各会計現金出納処理及び記録 ・各会計預金出納処理及び記録
5～10	国保連保険請求伝送処理	・データ最終確認・国保連伝送			
1～10	給与・報酬等計算事務	・勤怠情况等個人計算データ確認	随時	物品発注・管理処理	・備品、消耗品等購入交渉と管理 ・見積請求・入札等の調整及び記録
	源泉所得税納付処理	・計算(集計)処理		人事労務関係手続処理	・健康保険及び厚生年金保険関係 ・雇用保険及び労災保険関係 ・福利厚生制度関係 ・求人その他
	市・県民税納付処理	・銀行振込及び納付処理			
	共助会費等納付処理	・記録処理		建物・備品等メンテナンス	・補修及び交換、清掃処理 ・業者手配連絡調整 ・各種見積・契約の交渉等の調整
	利用料請求処理	・請求書作成・発送処理			
1～10	月次試算表作成・提出	・各会計別(理事長提出)			
10～20	月次業者払計算事務	・業者別計算データ確認 ・計算処理・銀行振込・記録処理			
15・30	物品請求処理	・各部署請求物品支給			
20	利用料銀行引落処理	・銀行引落データ作成・確認・訂正 ・引落送信・承認手続処理			

平成 30 年度

栄養課事業報告

社会福祉法人 晴智会

晴和苑

平成 30 年度 栄養課基本方針

入所・ショートステイ・デイサービス・配食サービス・グループホームを利用されているすべての利用者様が食事の時間が一番楽しみと言って頂けるように、充実した質の高い食事を提供していきたいと考えます。そのためには、栄養課職員一人々の食に関しての知識や技術を高めることや、利用者様の状態や嗜好を把握することに努めることが重要であると考えます。他職種と協力し、情報交換を行い、質の高いサービスにしていけるよう努めます。

栄養課年間業務に対する評価

特養部門

ソフト食やミキサー食の均一化を測る為、管理栄養士が検食を行い、飲み込みやすさや固さ、色合いを検討しています。今後も継続し、献立に反映していきます。その他、現場から直接聞いた意見や検食簿で指摘された事項について改善を行ってきました。また衛生管理については、休憩時間を使い理解を深めました。今後も、危機管理意識を高める為、勉強会を行っていきます。

配食部門

配食を利用されている方から食事に関してのご指摘をいただくことや、配達職員から献立の評判を聞くなどして、利用者の希望や要望を取り入れ、満足して頂けるように努めました。まだ改善点はありますが、手紙でおいしかったと言っていただけでもあります。今後も利用者の要望に積極的に答え、よりよいサービスを提供できるよう努めます。

デイサービス部門

季節の旬な食材を積極的に取り入れ、施設内でも四季を感じて頂けるような献立内容を心がけています。また、検食簿や給食会議、利用者様からの直接的な意見を献立に反映してきました。日々の提供サービス内容で発生した改善点は給食会議を通してデイサービス職員と話し合いを行い、解決しています。今後も満足していただけるサービスを提供できるよう努めます。

【清掃衛生関係・曜日別実績表】

曜日	内容及び実績
月曜	トイレ掃除 配膳車掃除
火曜	食品庫掃除 台車掃除
水曜	トイレ掃除 配膳車掃除
木曜	冷蔵庫掃除 台車掃除
金曜	トイレ掃除 配膳車掃除
土曜	食品庫掃除 床掃除 台車掃除
日曜	トイレ掃除 食器漂白 配膳車掃除

- ・保温庫、冷蔵庫（食堂側）、給茶機、床（作り場、仕込み場）の掃除は毎日行う。
- ・まな板、ミキサー、カッター、スポンジ、たわし類は毎日2回行う。
- ・下水掃除は、週1回以上行う。
- ・食品庫の床、手洗い場、検収室の掃除は週2回行う。
- ・温冷配膳車のフィルター、スチームコンベクションのフィルター清掃は週1回以上行う。
- ・殺菌庫清掃、冷蔵庫のフィルター清掃は月2回以上行う。

【月間予定・実績表】

日程	実施内容
毎月第3水曜日	給食会議
月末	棚卸し
月始	食材費計算書の作成
月1回	厨房全体ミーティング

【年間予定・実績表】

月	年間予定	年間実績
4	事業報告書作成 細菌検査 溝掃除	厨房内衛生講習会実施
5	細菌検査 溝掃除	端午の節句 菖蒲湯
6	厨房内大掃除 細菌検査 溝掃除	29日30日厨房大掃除 福祉フェスティバル
7	細菌検査 溝掃除	特養納涼祭
8	細菌検査 溝掃除	お盆 23日流し素麺 26日27日DS納涼祭
9	食品庫整理 細菌検査 溝掃除	15日敬老祝賀会
10	細菌検査 溝掃除	20日GH調理実演 23日24日DS運動会
11	細菌検査 溝掃除 厨房内大掃除	サラヤ衛生検査 30日厨房大掃除
12	厨房内大掃除 細菌検査 溝掃除	1日厨房大掃除 17日GHお楽しみ会 クリスマス会 冬至 年末大棚卸 年始準備
1	細菌検査 溝掃除	お節 七草粥 鏡開き
2	事業計画書作成 細菌検査 溝掃除	事業計画書作成 食品衛生責任者実務講習会 節分
3	書類整理 食品庫整理 細菌検査 溝掃除	年度末書類整理・非常食確認 サラヤ衛生講習会 DS GH実演調理

- ・毎月15日細菌検査実施。
- ・毎月20日溝掃除の実施。
- ・年1回外部業者による厨房内衛生検査の実施。

【平成 30 年度食事摂取状況】

	1 日 1 人あたりの栄養所要量									
月	エネルギー (Kcal)	蛋白質 (g)	脂質 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	レチノール (μ g)	ビタミンB1 (mg)	ビタミンB2 (mg)	ビタミンC (mg)	食塩 (g)
4	1676	61.8	39.4	637	8.4	488	0.65	1.00	57	8.0
5	1671	64.4	37.1	655	9.5	529	0.72	1.00	71	8.5
6	1640	61.7	34.5	616	8.4	303	0.67	0.87	66	8.3
7	1600	61.3	35.5	525	8.0	333	0.68	0.89	67	8.5
8	1672	62.1	37.7	632	8.5	378	0.67	0.94	61	8.6
9	1663	63.2	37.3	618	8.6	329	0.68	0.89	62	8.5
10	1665	62.1	36.4	632	8.9	606	0.71	0.96	62	8.2
11	1663	62.3	36.1	636	8.7	284	0.87	0.97	54	8.6
12	1669	60.8	36.8	639	8.3	183	0.65	0.88	58	8.4
1	1667	62.5	35.6	635	8.5	203	0.68	0.88	59	8.6
2	1676	62.8	35.9	652	8.8	331	0.73	0.98	60	9.1
3	1682	64.2	37.4	657	9.2	312	0.70	0.99	63	9.1
施設平均	1662	62.4	36.6	623	8.7	357	0.71	0.94	62	8.5
基準値	1600	52.2	33	562	6.3	576	0.87	0.97	100	10

【平成 30 年度部署別食数集計表】

月	特養	ショートステイ	デイサービス	配食サービス	グループホーム
4	7616	980	663	851	807
5	7844	1080	705	897	796
6	7707	744	679	877	897
7	8007	783	701	857	925
8	8022	849	686	885	928
9	7705	657	687	846	899
10	7539	560	730	924	836
11	7503	238	711	889	805
12	7619	203	716	869	832
1	7788	216	671	857	820
2	7011	177	665	896	755
3	7824	385	752	956	831
合計	92185	7616	8366	10604	10131
月平均	7682	635	697	884	844

【平成 30 年度食材費及びおやつ単価表】

月	単食当り食材費	入所おやつ単価	デイおやつ単価
4	189	21	54
5	191	23	46
6	190	19	58
7	187	19	59
8	193	18	61
9	191	38	53
10	201	23	69
11	200	24	42
12	202	28	51
1	212	23	56
2	197	34	31
3	196	33	43
平均	196	25	52

【平成 30 年度行事献立表】

実施月	実施日	行事内容	献立
4 月	6 日	郷土料理	たけのこ汁（山形県）
	13 日	主菜セレクト	油林鶏 鮭のタルタルがけ
	17 日	副菜セレクト	ふきと厚揚げの煮物 しらすと揚げ茄子のごまサラダ
	24 日	誕生日会	竹の子ご飯 カレイの道明寺あんかけ かぶと菜の花の炊き合わせ 酒粕寒天寄せ 味噌汁
5 月	5 日	端午の節句	鮭散らし寿司 鶏つくね煮物 赤出汁 杏仁豆腐
	11 日	郷土料理	粉豆腐の炒り煮
	13 日	母の日	ご飯、揚げ出し豆腐山菜おろしあん ねぎとろ 味噌汁 バナ
	18 日	主菜セレクト	アジフライ 手作りハンバーグ
	25 日	誕生日会	しらすご飯 鮭のふき味噌焼き 信田巻き 清汁 黄桃寒天寄せ
	29 日	副菜セレクト	海老とエリンギのおろし和え アスパラと豚肉の卵炒め
6 月	8 日	郷土料理	めった汁（石川県）
	15 日	主菜セレクト	鮭のスタミナ焼き 鶏肉のクリーム煮
	17 日	父の日	揚げ出し豆腐野菜あんかけ ねぎとろ 味噌汁 バナ
	19 日	誕生日会	桜海老ご飯 鮭の枝豆ソース焼き 牛肉の時雨煮 清汁 トマト寒天寄せ
	24 日	副菜セレクト	車麩とじゃが芋の煮物 揚げ海老と枝豆のサラダ

7 月	3 日	郷土料理	こづゆ（福島県）
	7 日	七夕	五目散らし寿司 あさりと切り干し大根の煮物 卵豆腐 めかぶがけ 赤出汁
	10 日	主菜セレクト	鶏肉のマスタード焼き 魚の南蛮漬け
	17 日	土用の丑の日	うなぎひつまぶし 長芋と蟹の酢の物 味噌汁
	20 日	誕生日会	昆布ご飯 鱈と野菜の天麩羅 貝と野菜の酢の物 唐土豆腐 味噌汁
	24 日	副菜セレクト	夏野菜の煮浸し チキンのトマト煮
	29 日	納涼祭	焼きそば 焼き鶏 チョコバナカ キキ氷（メロン・苺・練乳・小豆）
8 月	3 日	郷土料理	だし（山形県）
	7 日	副菜セレクト	豚バラと冬瓜の煮物 トマトとオクラの梅しそ和え
	17 日	主菜セレクト	夏野菜と鶏肉の炒め物 鰯のごま味噌焼き
	24 日	誕生会	菜飯 鰻の蒲焼 冬瓜と鶏肉の炊き合わせ ブルーベリー寒天寄せ 清汁
9 月	7 日	郷土料理	茄子のよごし（富山県）
	9 日	敬老祝賀会	赤飯 鯛の黄金焼き 蕪と海老の炊き合わせ 栗寒天寄せ 赤出汁
	11 日	副菜セレクト	揚げ鶏と里芋のみぞれがけ きのこパスタのバター醤油炒め
	21 日	誕生会	きのこご飯 鮭のゆず味噌焼き 高野豆腐と茄子のオムレツ 煮 ごま豆腐 清汁
	25 日	主菜セレクト	チキン南蛮 鯖の生姜煮
10 月	5 日	郷土料理	こしね汁（群馬県）
	9 日	副菜セレクト	冬瓜のそぼろあんかけ 海老と茄子とオクラの梅しそおかか和え
	19 日	主菜セレクト	花シューマイ 秋刀魚の唐揚げ 香味ソースがけ
	23 日	誕生会	松茸ご飯 秋刀魚の南蛮漬け 海老新丈と南瓜の炊き合わせ 紫芋の寒天寄せ 味噌汁
11 月	2 日	鍋の日	ほっけのつみれ汁
	6 日	副菜セレクト	さつまいもサラダ 蓮根と里芋の煮物
	13 日	主菜セレクト	舞茸と蓮根のハンバーグ 鮭フライとさつま芋のフライ
	20 日	誕生会	ゆかり飯 刺身の盛り合わせ 鶏肉の治部煮 りんご寒天寄せ 味噌汁

12 月	2 日	特養大掃除	豚井 ほうれん草の柚子和え さつま汁 パナ
	7 日	鍋の日	豚角煮鍋
	11 日	副菜セレクト	きのこと鶏肉のトマト煮
	14 日	主菜セレクト	大根海鮮あんかけ
	18 日	誕生日会	鶏肉の味噌マヨネーズ焼き
	20 日	DS クリスマス会	鮭とイラの散らし寿司 炊き合わせ 赤出汁 小豆の寒天寄せ
	23 日	特養クリスマス会	握り寿司 天麩羅 豚バラと大根の煮物 鯛潮汁
	31 日	年越し	帆立ビラフ 海老フライ&ハンバーグ さつま芋のレモン煮 トマトスープ 年越しそば 海老のかき揚げ ほうれん草おろし和え
1 月	1 日～2 日	お節	一の重 貳の重 参の重
	7 日	七草	七草粥
	8 日	鍋の日	豚すき鍋
	18 日	副菜セレクト	蓮根と豚バラ炒め 里芋と厚揚げの煮物
	22 日	誕生会	浅利ご飯 刺身三点盛り ふろふき大根の鶏味噌がけ 黄桃寒天寄せ 清汁
	25 日	主菜セレクト	鶏肉のトマトカレー煮 鮭の生姜焼き
2 月	3 日	節分	菜めし 鶏肉の香味焼き 大豆の五目煮 鰯のつみれ煮 パナ
	8 日	鍋の日	海鮮鍋
	15 日	主菜セレクト	赤魚のおろし煮 肉団子のシチュー
	19 日	誕生日会	うなぎのちらし寿司 合鴨と里芋の煮物 味噌汁 苺寒天寄せ
	26 日	副菜セレクト	白菜と豚肉の胡麻マヨ和え 蓮根と里芋のみぞれがけ
3 月	3 日	ひな祭り	花散らし寿司 大根のそぼろあんかけ 杏仁豆腐 赤出汁
	8 日	郷土料理	せんべい汁（青森県）
	12 日	副菜セレクト	鶏肉と蕪の煮物 白身魚ときのこのバターソテー
	19 日	誕生日会	しらすご飯 鰯の落味噌焼き 鶏とつくねと筍の煮物 キウイ寒天寄せ 赤出汁
	22 日	主菜セレクト	カレイのムニエル チキンカツ

栄養ケア・マネジメント事業報告

栄養ケア・マネジメントの趣旨

高齢者の楽しみのひとつである食事を通して、入所者様の生活の質の向上を目指す。
又、様々な要因によって食事が摂れず低栄養状態が続かないように各部署の関連スタッフと情報交換を行い早期に改善策を見出し、楽しい食事時間を過ごして頂くことへの導きを目的とする。

定期的な栄養スクリーニングの報告

低栄養の評価判定 BMI は1つの基準ではあるが、当苑では体重減少率を重要視している。

* 体重減少率3ヶ月に3～7.5%未満またはBMI 18.5 未満は 中リスク

体重減少率3ヶ月に7.5%以上または褥瘡あり 高リスク

	低栄養状態低リスク	低栄養状態中リスク	低栄養状態高リスク
第1期（4月）	42名	36名	12名
第2期（7月）	42名	36名	12名
第3期（10月）	48名	30名	12名
第4期（1月）	46名	31名	13名

栄養ケア・マネジメントによる活動報告

毎月、ケアワーカー、看護主任と給食会議、食事委員会を通して利用者について体重評価、摂取状況等の確認を行ってきました。その時の利用者の状態に適した食事内容での提供や必要な場合は、補助食品の検討を行ってきました。

平成 30 年度

福 祉 部

年 間 事 業 報 告

社 会 福 祉 法 人 晴 智 会

晴 和 苑

平成30年度

福祉部 施設サービス課
(特別養護老人ホーム)
(短期入所施設)

年間事業報告

社会福祉法人 晴智会
晴和苑

【年間目標】

＜生活相談員＞

○退所や長期入院による空床期間の一層の短縮化を図り、ショートステイを含むベッド稼働率の向上を目指す

●入所申し込み者の中から、実調実施予定者の選定と実調を迅速に行なう

(入所検討会議等での検討結果を重視する)

●実調実施者の入所受け入れ可否の判断と健康診断書作成の迅速化（2週間を目安）

●入院者の状況を1週間毎に確認を行なう（看護師との連携を強化する）

●入院等による空床ベッドの状況をショートステイ担当と共有し、ショートステイ利用希望者のニーズに応える

【評価】→例年の利用者の退所動向の傾向を把握。利用者の状態などを確認しながら、本年度の退所動向を予測し、実調実施予定者の選定と実調を迅速に行えている。しかしながら、ケアワーカーの不足により、重介護利用者の受け入れが困難な状況があるため、優先順位の調整に苦勞している。実調実施者の受け入れの可否の判断と健康診断書作成の迅速化については、退所動向を予測しながら、実調実施予定者の選定と実調を迅速に行えていることにより、入所までの期間に余裕が生まれ、退所者が発生した時点ですでに実調実施者の受け入れの可否の判断と健康診断書作成が完了している状況である。
入院者の状況の確認については、確実に1週間毎には行えていないが、看護師や嘱託医と連携することにより、状況判断を要する情報の収集や状況の確認は行えている。しかしながら、ご家族や医療機関からの情報の収集や状況の確認には、ご家族の施設に対する情報提供に関する意識の欠如や医療機関との連絡体制の構築の不足という課題がある。入院等による空床ベッドのショートステイ利用については、ケアワーカーの不足により、ショートステイ利用者の受け入れを制限したことにより、ショートステイ利用希望者のニーズにも応えられていない状況。

○利用中および入所時には、ご家族様への連絡・連携を密に行い、適切なサービスを提供する

●ご利用者様及びご家族様との連携により、ご利用者様が安心・安全に利用できるように配慮に心がける

●利用中の状況を随時ご家族様へ報告する

【評価】→各部署間や各職種内でも連絡・報告・相談が不足したことにより、ご利用者様およびご家族に不安感や不信感を抱かせるような状況が見られた。また、事故（原因不明の痣などの発見を含む）が発生した際、「原因の究明」や「対策の周知・継続・評価・見直し」が十分に行えていない状況や、家族への「連絡の必要性の有・無」や「連絡の完了・未完了の周知」や「連絡後の記録」が十分に行えていない状況なども見られている。
このような状況では、ご利用者様およびご家族の安心・安全なご利用に配慮出来ているとは言えない。これらについては、情報共有の方法や原因究明の方法や継続的な対策の経過確認の方法や事故報告書の書式の変更（家族への連絡についての記録が行える）など、「気をつける」「意識する」などではない、具体的な仕組みを構築する必要があると思われる。

<ケアワーカー>

○ご利用者様が笑顔で生活できる環境を提供できるよう、職員一人ひとりが「気付き」と「考える介護」を実践する

●居室担当制度の充実を図る

●個々の職員の自己啓発と施設での研修等の充実を図り、スキルアップに努める
(吸引・胃ろう研修の参加も含む)

●介護職に必要な医療的知識の向上を図る

●介護の場面も必要な書類が多いため、個々の職員のパソコン技術の向上を目指す

●日々ご利用者様の生活状態に目を向け、細かな変化に気付ける観察力を身につける

●各種会議への積極的な参加を目指し、当事者意識の向上を図る

【評価】→・担当のご利用者様に対して各担当だけでなく、担当以外の職員からこうしてはどうか？等の意見が出たり、また実践していく場面がみられたので、今後も気付いたことがあればみんなで意見を出し合ってご利用者様がより良い生活を送れるよう支援出来たらと思います。

・問題や課題があるご利用者様については会議などでも積極的に話し合えたと思うが、安定しているご利用者様の生活の質や新たな関わりをするまでには至らなかったと思っています。生活レベルが維持されている方・問題の無いご利用者様こそ考える介護を実践していきたいと思います。

・個々の職員のパソコン技術の向上については出来ない人が出来る人に頼る事もみられたので、十分出来なかったと思う。

○職員同士のコミュニケーションや連携を強化し、信頼できる仲間（チーム）作りに努め、ケアプランに基づいた、より良いチームケアを実践する

●ご利用者様の日々変化する状態をしっかりと把握するために、職員同士で「報告」「連絡」「相談」を正確に行なう

●各職員の情報共有がしっかり出来るように、介護記録を充実させていく

●日々のケアでの気付きを居室担当職員へ報告しケアプランに反映させることで、ケアの充実につなげる

●コミュニケーションを取りやすい環境作りに努めていく

●他職種間で知識の向上と理解を深めることで、ケアワーカー・生活相談員・看護師間の連携強化につなげる

【評価】→各担当の毎月の振り返りは行っているが、日々の出来事について細かい記録が中々行えなかった。常勤職員だけでなく、非常勤職員にも簡単でいいので「こういう事があった」等の記録をしていただくようもう少し働きかければ良かった。

○ご利用者様の心身の状態観察に努め、異常や問題を早期発見し、チーム間で情報共有と迅速な対応を行なう

●職員各自がケアと観察力のスキルアップに努め、多方面から考えられる視点を持つ

●他部署との連絡を正確に行なう

●迅速に事故・ヒヤリハットの検証を行ない、次のケアに生かす

【評価】→フロアー会議でヒヤリハットの検証を行い、事故防止に努めていきたい。

<ショートステイ>

- ご利用者様の在宅生活を支援する適切な短期入所生活介護サービス計画書を作成し各職員に到達する
 - 短期サービス計画書の実施方法について
 - ①居宅介護サービス計画書を基本に、ご利用者様の状態に応じた在宅支援の視点に立った短期入所計画を立案して実施する
 - ②各職種間でご利用者様の情報とプランの共有化を図り、適切な援助を行なう
- 利用期間中および入・退所時には、ご家族への報告を確実にしない、適切なサービスにつなげる
 - 居宅介護支援事業所と連携をとり、各ご利用者様のニーズに応じたサービスを提供する
 - ご利用者様及びご家族様との連携により、ご利用者様が安心・安全にご利用できる様に対応する
 - 利用中の状況を随時ご家族様へ報告する
- 事故防止対策の徹底を図り、より安心・安全なサービスの提供を行なう
 - 事故の防止
 - ①事前情報を共有して、環境整備、状況を見極める体制をとり、事故防止に取り組む
 - ②利用期間中の状況変化に即応できるように細やかな観察と早期の対応に努める
- 施設入所者の入院等による空床は、効率的に短期入所の利用に転用する。年間を通じ安定した短期入所利用に努める
 - 各居宅介護支援事業所と日頃からの連携、細やかな空き情報の提供を行なう
 - 施設の空きベッドを利用するため、空いた時点で各居宅介護支援事業所にFAXや訪問時等に提示し、短期利用に結びつける
- 各包括支援センター及び居宅介護支援事業所等と連携を図り、介護予防短期入所事業を実施する
 - 包括支援センター及び居宅介護支援事業所等と密に連絡を取ることで介護予防事業を積極的に行なう
- 衣類及び持ち物の確実な返却を行なう。
 - すべての持ち物に記名をお願いし、荷物チェック表による確認の徹底を行なう

【評価】→・31年1月11日・ロングステイご利用者様よりインフルエンザが発症されましたが、入苑前の体調の確認・お迎え時の体温・体調確認を徹底する事で、苑内に感染源を持ち込む事はありませんでした。
本年度は感染強化期間中のロングステイのご利用者様の受診について、周りの状況を確認し、受診の時期をずらして頂く、処方日数増やして頂く等の対応を考えていきます。
・9月の疥癬、11月よりショートステイ10床からの縮小にて、稼働率が激減しました。
今後も各部署と連携・協力しあい、1日も早く元の状態にするよう努力致します。

<医療・看護>

- ご利用者様の身体状況を的確に捉え、個々のご利用者様の健康の保持・増進に努める
- ご利用者様の身体状況を各ケアワーカーやご家族様と情報を共有し、遅滞なく対応する
- ご利用者様の介護度や病状の重度化に伴い、疾病の予防・病状変化の予測・悪化防止等、異常の早期発見に努める
- 看取りの開始を2年後に考えている。今年度、外部研修と内部勉強会を積み重ね、晴和苑特養での看取りの方向性を考える。

【評価】→・ご利用者様の異常の早期発見に努め、夜間に急変がない様に早い段階での受診を心がけていました。
結果、入院者数を減らすことが出来、良かったと思います。
・平成29年度、インフルエンザでの隔離状態が長期に渡ったことを反省し、感染症対策委員と連携を取り、感染が広がらないように努めました。
結果、職員2名、ご利用者様1名にとどまり、良い結果に繋がっていると思います。
・看取りに関しては、研修に行き情報を得ることが出来ましたが、それを晴和苑でどのように取り入れたらいいのか、そこまでの取り組みには至らなかった。

特別養護老人ホーム利用状況

(平成31年3月31日現在)

(利用者性別・年齢別構成)

	男性	女性	合計
～59歳	0人	0人	0人
60歳～64歳	0人	0人	0人
65歳～69歳	4人	1人	5人
70歳～74歳	0人	2人	2人
75歳～79歳	3人	9人	12人
80歳～84歳	8人	8人	16人
85歳～89歳	3人	23人	26人
90歳～94歳	1人	15人	16人
95歳～99歳	0人	10人	10人
100歳～	0人	2人	2人
合計	19人	70人	89人

	最高齢	最低年齢	平均年齢	晴和苑平均年齢
男性	92歳4ヶ月	65歳11ヶ月	79.58	85.91
女性	101歳2ヶ月	69歳10ヶ月	87.54	
全国平均	男性 81.09	女性 87.26	(平成29年簡易生命表より)	

(入所地別構成)

	新座市	志木市	朝霞市	蕨市	板橋区	新宿区	練馬区	西東京市	武蔵野市	合計
男性	14人	2人	2人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	19人
女性	55人	2人	7人	1人	1人	1人	2人	0人	1人	70人
合計	69人	4人	9人	1人	1人	1人	2人	1人	1人	89人

(要介護度構成)

	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計	苑平均
男性	0人	0人	7人	8人	4人	19人	3.84
女性	1人	3人	14人	33人	19人	70人	3.94
合計	1人	3人	21人	41人	23人	89人	3.92

施設サービス課 ベッド稼働率(平成30年4月～平成31年3月)

	介護老人福祉施設(定員90)	短期入所生活介護(定員10)
4月	97.4%	101.3%
5月	96.9%	99.4%
6月	98.5%	89.3%
7月	99.0%	93.5%
8月	99.2%	92.3%
9月	97.4%	78.3%
10月	95.5%	66.5%
11月	98.5%	29.0%
12月	96.8%	25.5%
1月	98.0%	25.8%
2月	97.0%	23.6%
3月	97.8%	44.8%
平均	97.7%	64.1%

短期入所生活介護について、平成30年11月より一部ベッドの利用を一時的に中止している。

平成30年度 受診者（薬のみは除く）

病院受診	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	昨年
皮膚科	14	15	9	9	23	20	24	24	10	7	1	7	163	116
内科	9	7	8	7	8	9	11	12	13	7	4	7	102	159
泌尿器科	4	5	9	5	6	5	5	4	5	3	4	7	62	66
整形外科	7	4	4	2	3	4	4	3	9	6	3	4	53	36
精神科	2	3	3	6	5	5	3	6	4	5	2	2	46	32
脳神経外科	2	1		4	1	1	1		1		1		12	35
眼科	5	1	1	2		1	2						12	5
乳腺外科			1			1			1		2	2	7	4
婦人科	1	1		1								2	5	20
外科				1						1	1		3	8
耳鼻科					1						2		3	1
口腔外科				1		1				1			3	0
循環器内科											1		1	19
リウマチ科		1											1	0
神経内科											1		1	0
呼吸器内科													0	1
計	44	38	35	38	47	47	50	49	43	30	22	31	474	502
苑内往診	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	昨年
内科	70	105	80	73	69	78	70	137	82	85	71	77	997	987
訪問歯科	55	57	64	72	72	58	63	76	60	54	54	66	751	526
計	125	162	144	145	141	136	133	213	142	139	125	143	1748	1513
総計	169	200	179	183	188	183	183	262	185	169	147	174	2222	2015

平成30年度入院者一覽

[illegible]

平成30年度 研修報告

	苑内研修	苑外研修
4月		接遇研修(9日・1名)
5月	虐待防止・拘束廃止について 倫理及び法令順守について (7日・26名)	埼玉県認知症介護基礎研修(28日・1名) 中堅職員キャリアパス研修(28日・1名)
6月	食中毒について 身体拘束廃止について (6日・30名)	中堅職員キャリアパス研修(4日・1名) 口腔ケア研修(21日・1名) 感染症基礎研修(28日・1名)
7月		第1回社会貢献活動推進連絡会議(2日・1名) チームリーダーキャリアパス研修(2日・9日・1名) あんしんセーフティネットブロック会議・研修(6日・1名)
8月	褥瘡について (1日・27名)	看護職員研修会(20日・1名) 相談員研修会(24日・1名) 介護支援専門員研修会(30日・1名)
9月	「感染症対策研修」外部講師による勉強会 (5日・30名)	関東ブロック老人福祉施設研究総会(11日・12日・1名) なるほど納得！認知症研修(26日・1名)
10月	心肺蘇生とAED 口腔内の喀痰吸引 (3日・30名)	福祉施設におけるノロウイルス感染対策研修会 (10日・1名) ターミナル研修(31日・1名)
11月	感染症対策について (5日・26名)	生活相談員・介護支援専門員合同研修会(27日・1名)
12月	尿路感染症について (5日・23名)	
1月	入浴時の事故発生予防の研修 (8日・24名)	セーフティネット就労支援担当者連絡会(15日・1名) 生活困窮者支援に関する研修(15日・1名)
2月	誤嚥防止について(5日・20名)	あんしんセーフティネットブロック会議・研修(21日・1名)
3月	身体拘束廃止について プライバシー保護について (6日・18名)	社会貢献活動推進連絡会議(15日・1名) 認知症疾患医療連携協議会(26日・1名)

平成30年度

ボランティア

(個人・グループ)

クラブ・療法・理美容

実習

定期ボランティア（個人）活動者一覧

No.	お名前(様)	活 動 内 容	回数
1	有賀 晴子	ピアノ演奏・デイセンター手伝い・行事付き添い	38
2	門田 幸子	デイセンター手伝い・行事付き添い	43
3	須田 貴美恵	カラオケ講師・行事付き添い	16
4	斉藤 操	カラオケ講師・行事付き添い	15
5	橋本 昌子	日本舞踊講師	11
6	門馬 みどり	日本舞踊講師	11
7	森 民子	日本舞踊講師	11
8	小口 和江	日本舞踊講師	11
9	相田 世津子	日本舞踊講師	11
10	逆井 豊子	日本舞踊講師	11
11	友部 貞子	日本舞踊講師	11
12	山本 貞子	日本舞踊講師	11
13	市川 節子	日本舞踊講師	11
14	長田 美子	日本舞踊講師	11
15	吉村 京子	洗濯と整理	36
16	亀山 克代	洗濯と整理	46
17	岡村 美知子	パッチワーク講師	20
18	大畑 美保子	洗濯と整理・縫い物・行事の手伝い	42
19	菅田 圭子	習字講師	23
20	宇賀神 和永	園芸講師	11
21	成田 早知子	園芸講師	11
22	岸本 恵子	洗濯と整理	46
23	前地 静子	洗濯と整理	12
24	進藤 恒子	茶道講師	10
25	北嶋 忠男	ヘアカット	22
26	北嶋 由利子	ヘアカット	22
27	大室 紀子	ヘアカット	25
28	大久保 富士子	ヘアカット	12
29	福島 史明	ヘアカット	8
30	腰原 由美子	洗濯と整理	32
31	浅野 敏江	日本絵画（定期交換）	6
32	内藤 和男	洗濯と整理	20
33	新井 幸子	洗濯と整理	60
34	峰得 奈津子	洗濯と整理	18
35	駒形 典子	ピアノ演奏	12
36	横山 祐子	お話し相手・バイオリン演奏	45
37	小野木 百合子	洗濯と整理	3
33	田中 信子	フラダンス	6
34	隅田 順子	洗濯と整理	1
35	深澤 怜子	洗濯と整理	30
36	畑 美津子	洗濯と整理	6
37	金子 真也	口腔体操	12
38	服部 照子	洗濯と整理	4
39	高橋 郁子	洗濯と整理	5

グループボランティア

グループの名前	活 動 の 内 容
センブラル (立教大学学生)	夕食の手伝い・車椅子の整備・談話・行事の付き添い 随時
民謡の会	民謡 月 1 回の定期活動
クラブ フォトセブン (写真同好会)	写真を通じての交流 定期的な写真の展示
虹の会	コーラス 月 1 回の定期活動
日舞	日舞 月 1 回の定期活動
ちょうちょの会	傾聴ボランティア 月 1 ～ 2 回の定期活動
ピアノ演奏	ピアノ演奏 月 2 回の定期活動

クラブ・療法・美容 等

クラブ名	講師（先生）	曜日	時間
茶道	進藤恒子	第 3 火曜日	午後 2 時～ 3 時
カラオケ	須田貴美恵・斉藤操	第 2 ・ 4 水曜日	
パッチワーク	岡村美知子	第 1 ・ 3 水曜日	
園芸	宇賀神和永 成田千枝子	隔月第 4 木曜日	
虹の会	代表：大矢 他 2 6 名	第 1 火曜日	
日本舞踊	代表：橋本昌子	第 3 日曜日	
音楽療法	西田・光沢	第 1 ・ 3 水曜日	午前 1 0 時～ 1 1 時
理容	北嶋	第 2 火曜・第 4 金曜	午前 9 時～午後 1 時
理美容	大久保	第 2 金曜日	
理美容	大室	不定期	
理美容	福島	第 3 火曜日	

行事・地域交流 活動報告

[illegible]

実習・研修

[illegible]

平成30年度 彩の国あんしんセーフティネット事業 事業報告

年度別支援実績推移

	件数	現物給付金額(円)
平成27年度(9月～)	0	0
平成28年度	3	13,562
平成29年度	2	59,750
平成30年度	6	200,096

平成30年度支援詳細

年齢	性別	現物給付内容	現物給付金額(円)
50歳代	男性	光熱水費	9,895
50歳代	女性	家賃・振込手数料	100,000
30歳代	男性	食材・日用品費・その他	19,049
50歳代	男性	食材・光熱水費・交通費	33,023
20歳代	女性	光熱水費	7,522
40歳代	女性	光熱水費	30,607

【参考】彩の国あんしんセーフティネット事業とは

彩の国あんしんセーフティネット事業は、制度の狭間の問題や生活困窮等の新たな福祉課題に対して、社会福祉法人が柔軟に対応し、地域のセーフティネットの役割を担うものです。

具体的には、社会福祉施設が地域の生計困難者からの身近な相談機関となり、市町村社会福祉協議会と協働して経済的援助を含めた即応性のある対応を図るとともに継続的な支援を行っていきます。

生計困難者に対する経済的援助や社会貢献支援員の配置のための財源として、県内の社会福祉法人が毎年一定額を社会貢献活動会費として拠出します。

事業開始以来様々な相談を受ける中で、働きたくても働けない相談者が数多くいることが浮き彫りになってきました。そのため、平成29年度より就労支援を開始しています。又、平成30年度からは子どもの衣類を必要としている世帯へ衣類を届ける衣類バンクを開始しています。

平成30年度

福祉部 在宅サービス課

(通所介護)

(認知症対応型共同生活介護)

(居宅介護支援事業)

(地域包括支援センター)

年間事業報告

社会福祉法人 晴智会
晴和苑

平成 30 年度 社会福祉法人 晴智会 晴和苑
デイサービスセンター晴和苑 事業報告

＜ 年 間 総 括 ＞

平成 30 年度は利用率が昨年度に比べ 4%増加した（73%→77%）。また、客単価は 29 年度 8,408 円から 8,415 円と微増となった。

今年度の成果は下半期に入院等の利用者が少なく、欠席者が少なかった。また、居宅介護支援事業所のケアマネジャーの増員による利用者の増加により利用率が向上し、下半期（79%）が上半期（75%）よりも成績が良かった。

3 月末よりデイサービスでは利用待機者が各曜日で数名出ている。社会福祉法人としての使命は忘れることなく、開拓性、先駆性、独自性の精神を持ち、民間企業にも負けない、サービスの質と特色を打ち出し、次世代に残るデイサービスを構築していきたいと考える。

＜ 重 点 目 標 報 告 ＞

稼働率向上と安定化

評価

上半期 75%・下半期 79%の稼働率であった。冬場の利用者の増加と欠席者の減少が今回の利用率に影響を与えた。今年度は 42 名が新規利用者と 38 名の利用終了者がいた。居宅介護支援事業のケアマネジャーの増員により、デイ利用者は格段に向上し、利用率を押し上げた。

今後は利用者の多様なニーズに応えられるよう、ソフトを再構築していく必要がある。

②ご利用者のニーズに対応したサービス内容の充実

評価

フラワーアレンジメントが利用者に好評であった。また「晴和苑選手権」と題した、曜日対抗ゲームも継続して実施する事が出来た結果、ご利用者の中で認知され、楽しんで頂く事ができたと思う。特に職員も一緒に参加して優勝を競うことが利用者にとっても喜んでもらえたようである。今後もアクティビティサービス、クラブ活動の充実はもちろん、現在のご利用者の希望を踏まえ、リハビリの充実等、内容の充実を図っていききたいと考える。

③ご利用者・ご家族との信頼関係の構築

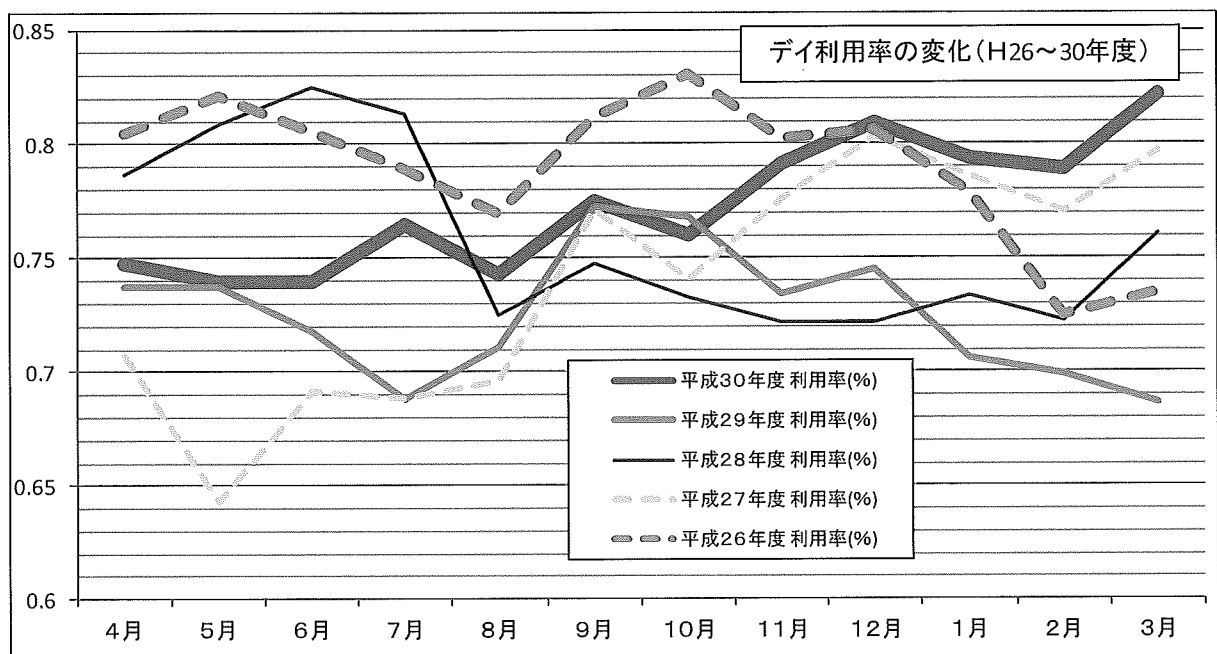
評価

昨年度に引き続き、相談員を中心に初回ご利用者・体験ご利用者への細かな状況報告。既存のご利用者に対しても連絡帳での書面報告だけでなく、できる限り必要な情報は電話連絡を実施し、信頼関係の構築が図れるよう努めることができた。また、アンケート調査を実施し、今後の分析資料として作成することができた。

④職場内研修と充実と各職員の資質向上

評価

今年度は各職員が中心となった定期的な勉強会を実施することにより、職員の意識改革・職員の資質向上が図られたのではないかと考える。この勉強会の取り組みは今後も継続して実施していきたいと考える。外部研修にも参加する機会もあり、様々な情報や取り組みが出来たのではないかと考える。今後は大手の民間企業にも負けないよう、組織として個人として、更なる質の向上を目指した勉強会等の取り組みを実施していきたいと考える。



平成30年度通所介護予定実績一覧

月	予定(人)	実績(人)	欠席(人)	一般浴(人)	機械浴(人)	稼働率(人)	1日平均利用人数	定員35(人)	稼働日数(日)
4月	774	654	120	298	35	72%	26.2	910	26
5月	822	699	123	336	36	74%	25.9	945	27
6月	792	673	119	336	26	74%	25.9	910	26
7月	811	696	115	359	26	76%	26.8	910	26
8月	873	702	171	368	30	74%	26.0	945	27
9月	815	678	137	355	26	77%	27.1	875	25
10月	861	718	143	386	30	79%	26.6	910	26
11月	841	720	121	389	28	79%	27.7	910	26
12月	823	708	115	363	27	81%	28.3	875	25
1月	794	667	127	336	27	79%	27.8	840	24
2月	815	663	152	312	28	79%	27.6	840	24
3月	876	748	128	354	28	82%	28.8	910	26
合計(平均)	9,897	8,326	1,571	4,192	347	77%	27.1	10,780	308

平成29年度通所介護予定実績一覧

合計	9,553	7,870	1,683	3,178	479	73%	25.4	10,850	310
----	-------	-------	-------	-------	-----	-----	------	--------	-----

平成30年度予定実績、介護・利用料請求額について

稼働率は77%となり、昨年比+4%となった。下半期より利用者が増加し、冬場に入院・体調不良による欠席が少なかった事により利用率が増加した。冬場のインフルエンザ対策や手洗い・うがいの継続の効果と考えられる。

客単価は28年度は8,159円、29年度は8,408円だったが、30年度は8,415円となった。地域支援事業(介護予防)の報酬減額が実施されていた中で客単価が微増であったことは、今後地域支援事業(介護予防)の利用者の割合を検討していく必要が出てきた。

30年度介護・利用料請求額			
	介護請求	利用料請求	合計
4月	¥4,504,914	¥952,248	¥5,457,162
5月	¥4,749,747	¥1,040,835	¥5,790,582
6月	¥4,634,507	¥1,003,323	¥5,637,830
7月	¥4,840,000	¥1,050,481	¥5,890,481
8月	¥4,863,344	¥1,068,331	¥5,931,675
9月	¥4,727,763	¥1,024,145	¥5,751,908
10月	¥4,935,873	¥1,090,755	¥6,026,628
11月	¥4,930,591	¥1,070,827	¥6,001,418
12月	¥4,882,264	¥1,077,520	¥5,959,784
1月	¥4,532,517	¥1,023,590	¥5,556,107
2月	¥4,761,756	¥1,008,392	¥5,770,148
3月	¥5,165,546	¥1,125,059	¥6,290,605
合計	¥57,528,822	¥12,535,506	¥70,064,328

29年度合計請求額	
	合計
4月	¥5,551,504
5月	¥5,794,174
6月	¥5,455,974
7月	¥5,368,954
8月	¥5,599,804
9月	¥5,874,140
10月	¥5,888,068
11月	¥5,474,787
12月	¥5,640,925
1月	¥5,039,325
2月	¥5,136,597
3月	¥5,350,397
合計	¥66,174,649

平成30年度通所介護事業報告

平成30年度通所介護 要介護度別平均年齢

月	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均年齢
4月	88.19	87.81	86.02	85.31	85.75	83.54	90.6	93.33	86.21
5月	86.94	87.73	82.9	85.91	85.83	84.23	90.69	93.42	86.27
6月	87.02	87.03	82.75	85.71	85.85	81.73	89.13	93.5	85.77
7月	87.39	87.12	83.52	85.01	85.99	82.7	90.85	93.58	85.71
8月	87.47	87.98	83.6	85.13	84.61	82.59	88.42	93.67	85.4
9月	87.56	88.06	84.58	85.21	84.7	83.29	90.86		85.76
10月	87.64	85.52	84.67	85.09	83.88	85.25	90.79		85.59
11月	87.72	84.47	83.05	85.2	84.32	84.18	90.87	83.67	85.44
12月	87.81	84.55	85.51	85.38	86.23	84.67	90.95	83.75	86.09
1月	87.89	83.21	83.6	85.18	86.92	83.57	91.46		86.06
2月	87.97	83.29	83.46	85.57	84.35	83.66	91.02	73.83	85.45
3月	83.83	82.62	85.15	85.99	84.05	82.9	91.09	74	85.47
平均									85.77
平均年齢	85.8歳	女性	86.5歳	男性	84.3歳	最小年齢	69歳	最大年齢	98歳

平成29年度通所介護 要介護度別平均年齢

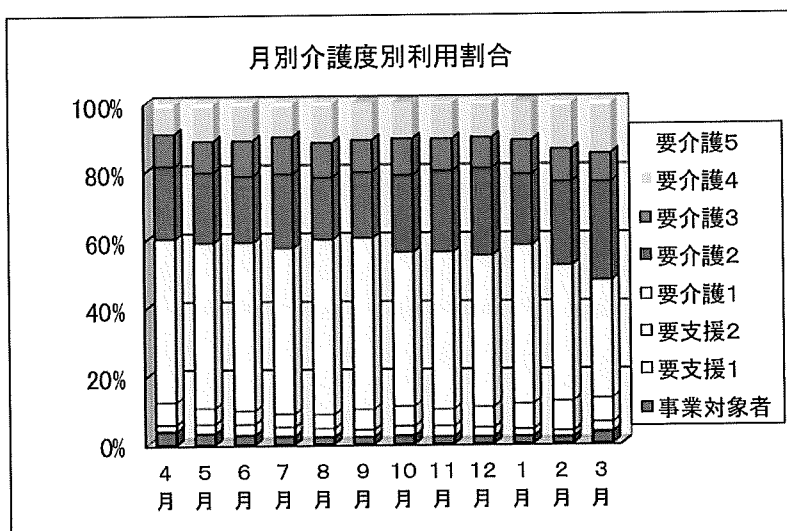
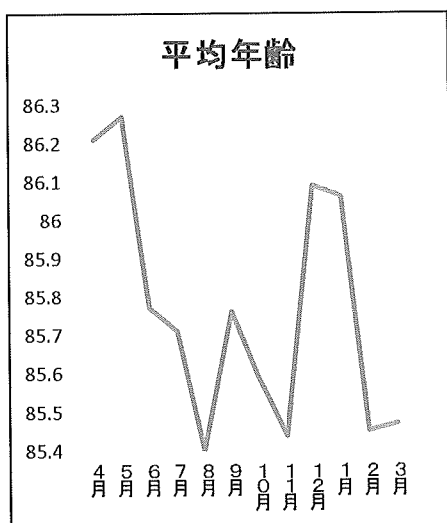
平均年齢	86.2歳	女性	87.0歳	男性	84.3歳	最小年齢	68歳	最大年齢	100歳
------	-------	----	-------	----	-------	------	-----	------	------

平成30年度通所介護介護度別通所日一覧

月	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	延べ人数	平均介護度
4月	27	12	43	313	139	62	54	4	654	1.60
5月	24	19	33	338	144	64	72	5	699	1.66
6月	20	21	26	332	131	70	70	3	673	1.67
7月	18	18	27	338	151	76	64	4	696	1.68
8月	16	17	29	360	127	72	78	3	702	1.68
9月	16	13	41	340	131	64	73		678	1.64
10月	19	19	42	324	162	77	75		718	1.68
11月	17	21	36	331	171	68	75	1	720	1.68
12月	16	18	43	314	181	64	71	1	708	1.67
1月	16	13	50	311	139	67	74		670	1.67
2月	14	11	58	264	162	63	87	4	663	1.77
3月	27	20	53	258	216	62	106	6	748	1.83
合計	230	202	481	3,823	1,854	809	899	31	8,329	1.69

平成29年度通所介護介護度別通所日一覧

合計	209	48	390	3,689	1,536	627	719	179	7,397	1.71
----	-----	----	-----	-------	-------	-----	-----	-----	-------	------



平成30年度の状況分析

昨年度と比較し、要介護5の利用者が減少し、要介護4・3・2の利用者数が増えた。要支援1・2の利用者が今後事業対象者へとなりつつあり、軽度者へのサービス提供については現場の状況を踏まえ割合を検討していく必要がある。

平成30年度年間行事報告

実施日	年間行事	実施内容
4月1日～4月6日	花見	送り時間を15分早く出発し桜を見ながら送る
4月6日	苺狩り	北田農園苺のマルシェへ
4月25日	フラワーアレンジメント	洋風生け花。作品は各自で持ち帰った
5月25日	手作りおやつ	抹茶カステラ
5月31日	映画鑑賞会	デイフロアにて映画鑑賞会を実施
6月19・26日	ドライブデー	がってん食堂で昼食をとり、難波田城公園へ
7月5・12日	アフタヌーンティー	ジョナサン新座店へ
7月27日	フラワーアレンジメント	洋風生け花。作品は各自で持ち帰った
8月22日	ぶどう狩り	小泉ぶどう園にてぶどう狩り
8月27日	夏祭り	盆踊り、的屋開催、ヨーヨーすくい、にぎり寿司等実演
9月28日	マジックショー	パペットマジックのショーを開催
10月26日	運動会	紅白玉入れ、風船バレー・パン食い競争を実施
11月9日	ドライブデー	がってん食堂で食事し、川越祭り会館
11月22日	マジックショー	パペットマジックのショーを開催
12月20日	クリスマス会	職員によるハンドベル演奏、サンタからのプレゼント配布
1月4日	初詣	敷島神社で初詣実施
2月13日	フラワーアレンジメント	洋風生け花。作品は各自で持ち帰った
2月21・25日	映画鑑賞会	デイフロアにて映画鑑賞会を実施（君の名は他）
3月25日	苺フェア	ジョナサン新座店の苺フェアで苺を食す

毎月第2週は晴和苑選手権と題し、曜日対抗のゲームを毎月開催。優勝チームは広報誌の表紙に掲載
毎月第3週にお誕生日会実施。職員の手作りによるフォトフレームを贈呈

平成30年度クラブ活動・ボランティア活動実績

実施日	クラブ活動名	内容
毎週火曜日	歌の日	ピアノ演奏に合わせて歌を歌う
第1・3水曜日	パッチワーククラブ	個人作品及び共同作品の作成
第1・3・4土曜・第4水曜日	カラオケクラブ	個人及び全体でのカラオケ、体操含む
第1木曜日・第3水曜日	書道クラブ	講師の指導のもと、個人に合わせた内容で実施
第2月・不定期	大正琴つかさ会	大正琴演奏、歌
第3月曜日	ピアノボランティア	ピアノに合わせて歌を歌い、楽器も楽しむ
不定期	民謡同好会	10名前後の講師による三味線演奏、長唄等
火曜日	デイセンター定期ボランティア	ご利用者とのふれ合い、準備、片付け等
第2金曜・不定期（月2回）	美容ボランティア	希望者へのカット実施
第2・4水曜日	囲碁ボランティア	個人での囲碁ボランティア

平成30年度行事・クラブ活動について

パペットマジックの方が新たにボランティアとして活動することとなった。

ピアノボランティアが今年度一杯で終了となった。

大正琴つかさ会が定期的なクラブ活動となり、利用者は歌を歌う機会が増えた。

昨年度に引き続き各クラブ活動は継続され、充実した内容となった。

曜日対抗である晴和苑選手権は継続されて行なわれ、異なった題材を提供していき、好評を得ている。

（職員各自が、担当月を決めて、季節感のある点数で競えるゲーム）

今後、行事の開催について選択制を基本とし、より多くの苑内外出行事を企画していく。

クラブ活動が曜日固定のため、内容等を来年度検討して行く。

平成30年度 グループホーム晴和苑 事業報告書

<総括>

平成30年度は年間通して入院者、また入退居動きが少なく安定した年となった。ご利用者の皆様は日常生活動作等の低下もあり要介護度は高くなっているものの毎日穏やかに過ごされ、グループホームの生活を維持されている。

また、家族懇談会にてご家族様からご要望があり“訪問診療”の導入が実現した。定期的に診察を受ける事でご利用者の体調管理については安心出来る環境が整い、インフルエンザ等の感染症の発生もなく新年度を迎える事が出来た。引き続きご利用者の安全とご家族の安心の為に心をつくし、職員一同“ご利用者ファースト”を念頭に活気ある生活の提供に努める。

<重点目標報告>

1. 医療・家族との連携について

年度末に行われる家族懇談会にて、ご家族より定期受診及び急な体調変化による受診の負担が大きいとのご意見を頂いた。上半期は情報収集・検討を重ね、あくまでも希望制とし平成30年8月より“訪問診療”導入が実現出来た(現在9名中8名ご利用)。月2回の診察そして予防接種・血液検査等も行われ、ご利用者の体調管理に役立つ事が出来た。また急な体調不良にも対応して頂き、ご家族に安心して頂く事が環境が整った。

2. 地域との連携と地域への貢献

地域との連携に関しては、今年度も東三丁目夏祭りに参加させて頂き、地域の住民の方との交流を楽しんで頂いた。そしてその夏祭りがきっかけとなりオカリナ演奏のボランティアグループが定期的に来てくれる事になり、ご利用者を楽しませてくれている事は大変喜ばしく、感謝している。

地域貢献としては東三丁目町内会主催の町内清掃にご利用者と参加させて頂き、“地域の住民”としての活動の場を広げる事が出来た。又、高齢者相談センターが行う“認知症サポーター講座”に出向き、地域住民の方々に認知症に対する理解を深めて頂く事も出来た。今後も“地域と共に歩む”グループホームを目指していく。

3. 自立支援に基づいたサービスの提供

日常の暮らしの中で今まで培われてきた家事を中心に行い、自らの役割を持つ事で生活意欲と達成感を味わって頂いた。又、日々変化するご利用者の感情に寄り添いながら、その時々での最善の対応を職員で共有しながら自立支援に向けたサービスを心がけた。またご利用者同士馴染みの関係になる様、時には職員は黒子になりながら和気あいあいとした雰囲気作りに努めた。

中庭で栽培した枝豆やさつまいもは見事に実になり、水やりから収穫・食べるまでの過程をご利用者と楽しみ、達成感を味わって頂く事が出来た。

今後もご利用者の“意志”と職員の“想像力”を融合させ、ご利用者の“望み”を追求していく様支援する。

●要介護度別延年間入居者数、年間平均介護度の比較

2017年度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度
合計	837	1137	838	304	0	3116	2.20

2018年度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度
合計	574	807	948	643	304	3276	2.78

平均介護度は「2.78」、平均年齢は84.6歳である。今後も自立支援に向けた取り組みをしていく。

●月間延利用者数、1日平均入居者数、利用率の比較

2017年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
月間定員数(人)	270	279	270	279	279	270	279	270	279	279	252	279	3285
月間合計入居者数(人)	254	279	268	248	273	238	217	253	279	276	252	279	3116
1日平均入居者数(人)	8.5	9.0	8.9	8.0	8.8	7.9	7.0	8.4	9.0	8.9	9.0	9.0	8.54
外泊延べ日数(泊)	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4	0	2	9
入院延べ人数(人)	0	0	0	1	0	2	4	0	0	0	0	0	7
新規入居者数(人)	1	0	0	1	1	0	2	1	0	0	0	0	6
退居者数(人)	0	0	1	1	0	1	2	0	0	0	0	0	5
退居～入居の空室期間(日)	16	0	2	9	6	0	28	17	0	0	0	0	78
利用率(%)	94%	100%	99%	89%	98%	88%	78%	94%	100%	99%	100%	100%	94.9%

2018年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
月間定員数(人)	270	279	270	279	279	270	279	270	279	279	252	279	3285
月間合計入居者数(人)	270	268	270	279	279	270	279	270	279	275	252	279	3270
1日平均入居者数(人)	9.0	8.6	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	8.9	9.0	9.0	8.96
外泊延べ日数(泊)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入院延べ人数(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新規入居者数(人)	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
退居者数(人)	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
退居～入居の空室期間(日)	0	10	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	13
利用率(%)	100%	96%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	99%	100%	100%	99.6%

※ 外泊・入院に関しては、実際に終日グループホームにいなかった日のみ計上。

平成30年度、退居者は2名。利用率99.6%となっている。

●年間介護・利用料請求額の比較

2017年度	介護請求額	利用料請求額	合計金額
4月	2,180,907	1,191,595	3,372,502
5月	2,385,835	1,250,351	3,636,186
6月	2,299,522	1,222,445	3,521,967
7月	2,146,055	1,163,374	3,309,429
8月	2,343,729	1,221,419	3,565,148
9月	2,027,267	1,160,711	3,187,978
10月	1,851,716	1,072,442	2,924,158
11月	2,150,904	1,178,976	3,329,880
12月	2,356,660	1,273,750	3,630,410
1月	2,326,977	1,266,937	3,593,914
2月	2,134,295	1,217,157	3,351,452
3月	2,370,447	1,275,832	3,646,279
合計	26,574,314	14,494,989	41,069,303

2018年度	介護請求額	利用料請求額	合計金額
4月	2,293,935	1,258,537	3,552,472
5月	2,292,812	1,248,359	3,541,171
6月	2,302,717	1,283,337	3,586,054
7月	2,378,109	1,295,574	3,673,683
8月	2,350,144	1,341,031	3,691,175
9月	2,288,678	1,337,725	3,626,403
10月	2,365,008	1,349,065	3,714,073
11月	2,288,678	1,332,755	3,621,433
12月	2,365,008	1,344,915	3,709,923
1月	2,372,375	1,276,927	3,649,302
2月	2,187,500	1,240,065	3,427,565
3月	2,417,737	1,293,360	3,711,097
合計	27,902,701	15,601,650	43,504,351

●年間延来訪者、外出、受診、ボランティア数の比較

2017年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	月平均
来訪者数	22	45	49	43	27	30	35	50	48	42	27	29	447	37.3
外出日数	3	6	6	5	6	6	4	9	10	6	6	10	77	6.4
外出延べ人数	10	8	6	13	6	6	8	16	14	15	6	19	127	10.6
受診回数	6	3	5	2	5	9	10	13	8	7	11	5	84	7.0
ボランティア(回)	3	6	7	7	2	4	4	8	5	4	1	3	54	4.5

2018年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	月平均
来訪者数	21	48	35	54	21	33	15	51	66	45	25	37	451	37.6
外出日数	4	5	5	5	4	4	3	6	8	6	4	7	61	5.1
外出延べ人数	5	7	5	12	4	7	3	8	14	15	5	9	94	7.8
受診回数	7	9	7	6	6	3	3	8	5	3	4	3	64	5.3
訪問診療						7	7	7	7	8	8	8	52	4.3
ボランティア(回)	4	5	5	4	1	6	5	6	7	6	4	2	55	4.6

- ※ 来訪者には、グループホームを訪れたすべての人を計上している。(実習生と、業者等は除く)
- ※ 受診付き添いのみに来訪された家族も、来訪者として計上している。
- ※ 外出は、1日のうち1人でも入居者が外出(受診は除く)された時に計上。

〈ボランティア活動内容〉

- ・ ヘアカット
- ・ 話し相手(立教大学サークル・センブラル)
- ・ 楽器伴奏による合唱(ピアノ・オカリナ・コントラバス) ※オカリナ演奏は2018年度あらたに登録

●年間行事等実績報告(平成30年度)

年月日		内容	場所
2018年	4月	26日 ケアプラン会議・身体拘束委員会	GH
	5月	13日 母の日会	GH
		16日 運営推進会議	GH
		24日 ケアプラン会議	GH
	6月	10日 東児童遊園市民清掃	GH
		20日 食事会	GH
		28日 ケアプラン会議	GH
		7月 7日 七夕会	GH
	7月	18日 運営推進会議	GH
		19日 ケアプラン会議・身体拘束委員会	GH
		22日 東三丁目夏祭り	東児童遊園
		8月 15日 納涼会	GH
	9月	23日 ケアプラン会議	GH
		17日 敬老祝賀会	GH
		19日 運営推進会議	GH
		25日 ケアプラン会議	GH
	10月	25日 ケアプラン会議	GH
		28日 収穫祭	GH
		11月 21日 運営推進会議	GH
	12月	22日 ケアプラン会議・身体拘束委員会	GH
		25日 東児童遊園市民清掃	東児童遊園
		22日、12/4,9,18日 紅葉狩り	東北公園、苑周辺
		14日 外部評価・消防訓練	GH
		20日 年末お楽しみ会	GH
		24日 大掃除	GH
2019年	1月	27日 ケアプラン会議	GH
		1,2日 初詣	氏神様
		16日 運営推進会議	GH
	2月	24日 ケアプラン会議・身体拘束委員会	GH
		4日 節分会	GH
		28日 ケアプラン会議	GH
	3月	3日 ひなまつり会	GH
		17日 家族交流会・懇談会	GH
		20日 運営推進会議	GH
		28,29日 お花見	東児童遊園、中東公園
		29日 ケアプラン会議	GH

※ 利用者の誕生日には誕生日会を開催。

- ・ 12月に行われた外部評価では昨年度は災害対策(地域との協力体制)が課題・目標であったが、今年度は地域住民の方ご協力のもと達成する事が出来た。引き続きご利用者の安全・安心の生活を提供していく。
- ・ 行事では季節感を感じて頂く様おやつをご利用者と一緒に手作りし、工夫している。又、ボランティアさんをお招きし、楽しいひとときを過ごして頂いている。

●平成30年度 研修参加報告

- ・ 認知症ケア総復習(5/21・1名)
- ・ 認知症介護基礎(6/9・1名)
- ・ 口腔ケア研修(6/26・1名)
- ・ 摂食嚥下リハビリテーション初級(7/13・1名)
- ・ チームリーダーキャリアパス研修(7/23、30・1名)
- ・ 人材育成研修(8/3・1名)
- ・ 認知症介護事業者への全体研修会(9/28・1名)
- ・ 福祉職員が知っておくべき基礎研修(10/2、16・各1名)
- ・ チームリーダーキャリアパス研修(10/26・1名)
- ・ 話し方・折衝・交渉力向上研修(12/10・1名)

平成 30 年度

晴和苑居宅介護支援事業所 事業報告

【平成 30 年度の重点目標】

- 1・医療と介護の連携強化
- 2・質の高い公正中立なケアマネジメントの実践
- 3・安定した事業運営

を掲げて居宅介護支援を提供してきた。

資料①：平成 30 年度の居宅介護支援費の提出状況

- ・請求件数 1442 件（平成 29 年度は 1382 件）
- ・月平均 120 件（平成 29 年度は 115 件）
- ・常勤換算 1 人当たりの月件数 35.7 件（平成 29 年度は 35.7 件）
- * ケアマネージャー 1 人の標準担当件数は 35 件。

全国平均は 1 人 25 件（平成 28 年介護給付費分科会資料より）

資料②：各種会議、研修会への参加状況

昨年度と同様に在宅医療や看取り、多職種協働など様々なテーマの研修、市内外の会議に率先して参加した。また特定事業所加算算定事業所として圏域の 5 つの居宅介護支援事業所及び北部第一高齢相談センター合同での事例検討会や研修会なども実施する事ができた。様々な取り組みを行う事で各介護支援専門員の業務に対する姿勢が変化し視野を広げる事が出来た。今後も自分達が不足している知識や技術の習得、苦手意識が克服できるように苑内外の会議や研修に参加していく。

資料③：特定事業所集中減算計算書

事業所が 6 ヶ月間に作成した居宅サービス計画のうち、訪問介護等の 3 つのサービスについて、正当な理由なく特定の事業所の割合が 80%を超える場合に減算となるが該当するサービスはなく、2019 年度においても居宅介護支援事業所として減算せずに事業を運営していく事が出来る。

(参考)

◎利用者状況

- ・ 契約状況：新規 38 名 終了 52 名
- ・ 男女比率：男性 611 名 女性 771 名
- ・ 要介護度：要介護 1—729 名 要介護 2—334 名 要介護 3—233 名
要介護 4—89 名 要介護 5—57 名

◎介護支援専門員状況

- ・ 常勤 4 人（平成 30 年度途中 11 月 1 日より 4 人体制、それまでは 3 名体制）

【重点目標報告・今後に向けて】

1・医療と介護の連携強化

当事業所では、顔の見える関係作りの重要性を意識し、電話連絡だけでなく、事業所に直接足を運ぶようにして連携強化と信頼が構築されるように努めた。医師や看護師等の医療職では、知識や言語の違いにより連携が難しい場合もあるが、医師会や病院などが開催する研修等にも積極的に参加し、言語や病気などを学ぶ姿勢を持つよう努めた。次年度以降もケアマネージャーに求められている医療連携を意識しながら取り組んでいきたいと考える。

2・質の高い公正中立なケアマネジメントの実践

質の高いケアマネジメントについては、ご利用者の意向に沿ったケアプランの作成、根拠となるアセスメントをしっかりと行う事に努めた。また特定事業所加算算定事業所として週 1 回の事例検討会や勉強会、圏域の 5 つの居宅介護支援事業所及び北部第一高齢者相談センターと合同での事例検討開会を開催するなどの取り組みを行ってきた。また公正中立なケアマネジメントの視点においても、別添資料③にもあるようにその方に合ったサービスを提供してきたことでサービスが偏ることなく支援できたと考える。今後も増えるであろう、認知症高齢者や医療依存度の高い方などが、住み慣れた地域で安心して暮らせるように各自が今後も継続的に知識や技術の向上に努めていきたいと考える。

3・安定した事業運営

主任介護支援専門員 2 名、介護支援専門員 1 名（全て常勤）の 3 名体制、特定事業所加算Ⅲの算定事業所として事業開始となったが、安定した事業運営には介護支援専門員の増員は必須条件と考えていた為、11 月に新たな介護支援専門員を 1 名採用し 4 名体制で年度末を迎えることとなった。給付管理件数については、上半期、最大目標としていた 1 人平均 38 件を超える事が出来た。（38.2 件）下半期については 11 月に 1 名採用した事で平均 32 件と標準担当件数を下回る結果になったが、年間では 35.7 件と一定の結果を残すことができたと考える。今年度は圏域の包括支援センターだけでなく、他の圏域の包括や医療機関に積極的に出向く事で新規相談や紹介を受ける件数が多くなった。次年度以降も安定した事業運営の為、更なる介護支援専門員の増員検討、（埼玉県平成 29 年度ケアマネージャーの合格者 1469 人 合格率 25.4% 平成 30 年度ケアマネージャーの合格者 264 人 合格率 14.1%と合格者、合格率の低下、深刻な人材不足が懸念される為に今から組織体制を構築する必要がある）特定事業所加算Ⅱの算定、標準担当件数 35 件以上を目指して取り組んでいきたいと思う。

居宅介護支援費提出状況 国保請求分

対象年月	要介護度	件 数			請求額	内 訳							
						通 常				月 遅			
						件 数			請求額	件 数			請求額
		男	女	合計		男	女	合計		男	女	合計	
平成30年4月	要介護1	23	36	59	863,773	23	36	59	863,773	0	0	0	0
	要介護2	10	15	25	368,227	9	15	24	350,658	1	0	1	17,569
	要介護3	11	7	18	324,456	11	7	18	324,456	0	0	0	0
	要介護4	3	2	5	95,655	3	2	5	95,655	0	0	0	0
	要介護5	7	0	7	131,349	7	0	7	131,349	0	0	0	0
	合 計	60	72	0	1,783,460	0	0	0	1,765,891	1	0	1	17,569
平成30年5月	要介護1	22	36	58	845,016	22	36	58	845,016	0	0	0	0
	要介護2	9	18	27	390,879	9	17	26	376,402	0	1	1	14,477
	要介護3	11	7	18	321,246	11	7	18	321,246	0	0	0	0
	要介護4	5	2	7	128,139	4	2	6	107,082	1	0	1	210,057
	要介護5	6	0	6	107,082	6	0	6	107,082	0	0	0	0
	合 計	53	63	116	1,792,362	52	62	114	1,756,828	1	1	2	35,534
平成30年6月	要介護1	26	33	59	1,067,811	24	33	57	834,819	2	0	2	35,374
	要介護2	10	17	27	324,009	10	17	27	390,879	0	0	0	0
	要介護3	11	8	19	247,051	11	8	19	339,093	0	0	0	0
	要介護4	3	3	6	228,294	3	3	6	110,292	0	0	0	0
	要介護5	6	0	6	75,028	6	61	6	107,082	0	0	0	0
	合 計	56	61	117	1,942,193	54	66	115	1,782,165	2	0	2	88,477
平成30年7月	要介護1	24	34	58	979,622	24	33	57	979,622	0	1	1	17,687
	要介護2	9	15	24	333,467	9	15	24	333,467	0	0	0	0
	要介護3	11	9	20	229,931	11	8	19	229,931	0	1	1	17,847
	要介護4	4	3	7	106,122	4	3	7	106,122	0	0	0	0
	要介護5	5	0	5	70,748	5	0	5	70,748	0	0	0	0
	合 計	53	61	114	1,719,890	53	59	112	1,719,890	0	2	2	35,534
平成30年8月	要介護1	26	32	58	849,296	26	32	58	849,296	0	0	0	0
	要介護2	9	14	23	336,181	9	14	23	336,181	0	0	0	0
	要介護3	11	8	19	342,303	11	8	19	342,303	0	0	0	0
	要介護4	7	3	10	183,820	6	3	9	165,973	1	0	0	17,847
	要介護5	5	0	5	89,235	5	0	5	89,235	0	0	0	0
	合 計	58	57	114	1,800,835	57	57	114	1,782,988	1	0	1	17,847
平成30年9月	要介護1	27	33	60	878,250	27	33	60	878,250	0	0	0	0
	要介護2	9	15	24	347,448	9	14	23	332,971	0	1	1	14,477
	要介護3	11	7	18	321,246	11	7	18	321,246	0	0	0	0
	要介護4	5	2	7	124,929	5	2	7	124,929	0	0	0	0
	要介護5	4	1	4	71,388	4	0	4	71,388	0	0	0	0
	合 計	56	57	113	1,743,261	56	56	112	1,728,784	0	1	1	14,477
平成30年10月	要介護1	28	30	58	850,901	28	30	58	850,901	0	0	0	0
	要介護2	11	16	27	394,089	11	16	27	394,089	0	0	0	0
	要介護3	11	6	17	303,399	11	6	17	303,399	0	0	0	0
	要介護4	5	1	6	111,897	5	1	6	111,897	0	0	0	0
	要介護5	4	0	4	71,388	4	0	4	71,388	0	0	0	0
	合 計	59	53	112	1,731,674	59	53	112	1,731,674	0	0	0	0
平成30年11月	要介護1	27	30	57	831,609	27	30	57	831,609	2	0	2	32,164
	要介護2	16	15	31	458,417	14	15	29	426,253	0	0	0	0
	要介護3	11	7	18	321,246	11	7	18	321,246	0	0	0	0
	要介護4	4	2	6	107,082	4	2	6	107,082	0	0	0	0
	要介護5	4	0	4	71,388	4	0	4	71,388	0	0	0	0
	合 計	62	54	116	1,789,742	60	54	114	1,757,578	2	0	2	32,164
平成30年12月	要介護1	28	33	61	887,889	28	33	61	887,889	0	0	0	0
	要介護2	16	17	33	479,323	14	17	31	447,159	2	0	2	32,164
	要介護3	13	8	21	377,997	12	8	20	360,150	1	0	1	17,847
	要介護4	4	3	7	128,139	4	3	7	128,139	0	0	0	0
	要介護5	4	0	4	71,388	4	0	4	71,388	0	0	0	0
	合 計	65	61	126	1,944,736	62	61	123	1,894,725	3	0	3	50,011
平成31年1月	要介護1	30	64	66	949,016	30	36	66	949,016	0	0	0	0
	要介護2	13	35	28	405,356	13	15	28	405,356	0	0	0	0
	要介護3	10	9	19	339,093	10	8	18	321,246	0	1	1	17,847
	要介護4	7	3	10	178,470	5	3	8	142,776	2	0	2	35,694
	要介護5	3	1	4	67,279	3	62	3	53,541	0	1	1	13,738
	合 計	63	64	127	1,939,214	61	60	123	1,871,935	2	2	4	67,279
平成31年2月	要介護1	27	40	67	946,606	27	38	65	922,490	0	2	2	24,116
	要介護2	17	14	31	444,740	17	14	31	444,740	0	0	0	0
	要介護3	14	9	23	405,473	13	8	21	370,678	0	0	0	0
	要介護4	4	5	9	153,304	4	4	8	142,776	1	1	2	34,795
	要介護5	4	0	4	67,279	4	0	4	67,279	0	1	1	10,528
	合 計	66	68	134	2,017,402	65	64	129	1,947,963	1	4	5	69,439
平成31年3月	要介護1	28	40	68	933,775	27	39	66	916,079	1	1	2	17,696
	要介護2	19	15	34	464,073	18	15	33	455,225	1	0	1	8,848
	要介護3	14	9	23	395,843	14	8	22	377,996	0	1	1	17,847
	要介護4	4	5	9	160,623	4	5	9	160,623	0	0	0	0
	要介護5	4	0	4	59,960	3	0	3	46,222	1	0	1	13,738
	合 計	69	69	138	2,014,274	66	67	133	1,956,145	3	2	5	0
総 合 計		714	728	1442	22,145,557	698	716	1414	21,712,200	12	12	24	433,357

平成30年度 会議・研修一覧

実施日	出席者	会議・研修名・勉強会
平成30年4月5日	千葉智之	新座市研修会 平成30年度クレーム対応研修
平成30年5月11日	中野知子	志木市勉強会コミュニケーションと礼儀作法について研修会
平成30年5月23日	千葉智之	平成30年コミュニティソーシャルワーク実務者養成研修
平成30年7月9日	千葉智之	志木市勉強会自立支援に向けたケアプラン作成のポイント研修会
平成30年7月17日	下川修司	主任介護支援専門員研修 全15日間
平成30年7月24日	下川修司・中野知子・千葉智之	まちだ訪問クリニック勉強会 認知症を取り巻く環境と治療薬
平成30年9月6日	下川修司・中野知子・千葉智之	志木市研修会ケアマネジメントの標準化研修
平成30年9月12日	中野知子・千葉智之	生活課題の解決に役立つ支援のポイント研修
平成30年9月26日	中野知子	新座市研修会 ケアマネが知っておきたい成年後見制度
平成30年9月28日	下川修司・中野知子・千葉智之	在宅における看取りの支援・多職種連携について
平成30年10月10日	千葉智之	コミュニティソーシャルワークアウトリーチ研修
平成30年10月23日	下川修司・中野知子	埼玉県医師会研修 神経系指定難病の理解
平成30年10月24日	中野知子	朝霞地区保健所 ALS研修会 在宅療養の様子とコミュニケーションツールについて
平成30年10月26日	下川修司・中野知子・千葉智之	新座市多職種連携勉強会 看取りケア
平成30年11月1日	下川修司・中野知子	明治薬科大学勉強会 在宅で生きるを支える 神経難病の介護について
平成30年11月3日	千葉智之	新座志木中央病院 地域ケアカフェ
平成30年11月5日	下川修司・中野知子	若年性認知症支援セミナー
平成30年11月18日	千葉智之	介護支援専門員更新研修 全10日間
平成30年11月21日	全職員	北部第一圏域合同事例検討会 研修会
平成30年11月27日	下川修司	新座志木中央病院研修会 入退院時の情報共有 看護サマリーについて
平成30年12月7日	全職員	新座市多職種連携勉強会 看取りケア
平成30年12月19日	越湖梨恵子	認定調査員新任研修
平成31年1月17日	越湖梨恵子	高齢者権利擁護虐待研修
平成31年1月18日	越湖梨恵子	朝霞市包括主催 福祉用具勉強会
平成31年1月26日	越湖梨恵子	第6回ケアマネレベルアップ研修
平成31年2月12日	中野知子・千葉智之	認知症の方のケアマネジメントのポイント
平成31年2月21日	千葉智之・越湖梨恵子	アンガーマネジメント研修 メンタルケア
平成31年3月20日	下川修司	北部第一高齢者相談センター主催 介護予防ケアマネジメント研修

* 毎月第3水曜日 運営推進会議 * 毎月第2木曜日 居宅包括合同会議 * 週1回 居宅介護支援事業所調整会議

特定事業所集中減算計算書

平成30年3月～平成30年8月

1、訪問介護

(法人名) 事業所名	利用者数	
	人数	%
(株式会社 埼玉ライフ) 埼玉ライフケアサービス	63	40.9%
(株式会社 日本エルダリーケアサービス) おひさま介護朝霞	33	21.4%
(社会福祉協議会) 新座市社会福祉協議会	18	11.7%
(埼玉福祉会) ケアプラザ彩ふく	12	7.8%
(株式会社 めいと) めいと新座志木	12	7.8%
(株式会社 パンドラ) ファームイン訪問介護	10	6.5%

2、通所介護

(法人名) 事業所名	利用者数	
	人数	%
(社会福祉法人 晴智会) 老人デイサービスセンター晴和苑	156	38.7%
(株式会社 ケアサポート) ケアサポートにいざ・しき	43	10.6%
(株式会社 ハートフルおおむら) アシストSOUKI	37	9.2%
(やまねが'イカル) かがやきデイサービス	24	6.0%
(日生生化学研究所) 日生デイサービス新座	24	6.0%
(株式会社 ツクイ) ツクイ志木中宗岡	22	5.5%

3、福祉用具貸与

(法人名) 事業所名	利用者数	
	人数	%
(株式会社 ふれあい広場) ふれあい広場	209	57.1%
(有限会社 住まいるハート) 住まいるハート	53	14.5%
(株式会社 メディカル) フランスベッド所沢営業所	28	7.7%
(株式会社 トーカイ) トーカイ所沢営業所	18	4.9%
(株式会社) ホームケアセンターイワサキ	12	3.3%
(株式会社 フランスベッド) フランスベッ	12	3.3%

平成30年9月～平成31年2月

1、訪問介護

(法人名) 事業所名	利用者数	
	人数	%
(株式会社 埼玉ライフ) 埼玉ライフケアサービス	51	35.4%
(株式会社 日本エルダリーケアサービス) おひさま介護朝霞	40	21.1%
(社会福祉協議会) 新座市社会福祉協議会	19	11.8%
(埼玉福祉会) ケアプラザ彩ふく	12	7.5%
(株式会社 めいなけあ新座) めいなけあ新座訪問介護	12	7.5%
(株式会社 めいと) めいと新座志木	11	6.8%

2、通所介護

(法人名) 事業所名	利用者数	
	人数	%
(社会福祉法人 晴智会) 老人デイサービスセンター晴和苑	159	38.5%
(株式会社 ケアサポート) ケアサポートにいざ	50	12.1%
(株式会社 ハートフルおおむら) アシストSOUKI	32	7.7%
(株式会社 ツクイ) ツクイ志木中宗岡	29	7.0%
(日生生化学研究所) 日生デイサービス新座	20	4.8%
(やまねが'イカル) かがやきデイサービス	19	4.60%

3、福祉用具貸与

(法人名) 事業所名	利用者数	
	人数	%
(株式会社 ふれあい広場) ふれあい広場	223	55.2%
(有限会社 住まいるハート) 住まいるハート	58	14.4%
(株式会社 ダスキン) ダスキンヘルスレント	34	8.4%
(株式会社 トーカイ) トーカイ所沢営業所	24	5.9%
(株式会社) ホームケアセンターイワサキ	16	4.0%
(かくのき薬局) かくのき用品館	12	3.0%

平成 30 年度

新座市北部第一高齢者相談センター

指定介護予防支援事業所晴和苑

事業報告

1、1 年の振り返り

平成 30 年度は 9 月に職員が 1 名増員し 7 名体制でのセンター運営が始まった。10 月には新座市による実地指導を受け、介護保険法や条例を元に自分たちのやらなければならないことが明確となった。また、介護予防・日常生活支援総合事業が 2 年目に入り、新たな業務への対応や制度の熟知への努力が求められた変革の 1 年であった。

2、平成 30 年度重点目標に対する評価

主任介護支援専門員

（目標）圏域にある居宅介護支援事業所との連携強化に向けて、年 1 回は担当者を招集し情報共有を図り、またその中でケアマネジメント力の向上を図る機会とする。

（総括）5 月に特定事業所加算を算定している居宅介護支援事業所の管理者との会合を設定し、高齢者相談センターと居宅介護支援事業所との横の繋がりを構築し、11 月には居宅介護支援事業所の研修会へ参加。また、3 月には圏域の居宅介護支援事業所の管理者へ向けた研修会を開催することで、連携強化を図ることができた。

看護師

（目標）認知機能低下、重症化防止に向けた啓発活動として、月に 1～2 件の実態把握訪問を計画的に実施する。

（総括）年間を通し 29 名の訪問活動を実施。他、民生委員からの相談で独居や妄想のある方へ 20 名訪問。地域活動支援として、自主グループの参加者向けの健康講座を 2 か所 42 名に実施。

社会福祉士

（目標 1）圏域内の地域資源を可視化できるように取りまとめ、情報が活用できる体制を整備する。

（総括）既存の情報を修正することはしてきたが、可視化できるまでの取りまとめや情報が活用できる体制を整備するまでは計画的に進めることはできなかった。

（目標 2）高齢者虐待及び成年後見制度の啓発活動を 3 か月に 1 回実施し、早期発見・早期対応へつなげていく。

（総括）年間で 1 回だけ啓発活動を実施したが、それ以上の活動を実施することはできなかった。（地域のサロン：6 名）

3、事業別の報告

I、介護予防支援

II、介護予防ケアマネジメント

(総括) 平成 29 年 4 月より要支援認定で要支援 1・2 もしくは事業対象者(基本チェックリスト該当者)に係る支援の内、①: 訪問型サービスのみ、②: 通所型サービスのみ、③: ①②両方のサービスのみ利用の者への支援については「介護予防ケアマネジメント」として総合事業に位置付けられた。平成 30 年度は移行期間も終わり、今後の基本となる数字が見えるようになった。今後も懇切丁寧な対応を心掛けていきたい。

2017年度	介護予防支援									介護予防ケアマネジメント									総数		
	センター			委託			合計			センター			委託			合計					
	件数	初回	金額	件数	初回	金額	件数	初回	金額	件数	初回	金額	件数	初回	金額	件数	初回	金額	件数	初回	金額
4月	114	5	540,564	29	0	26,709	143	5	567,273	8	0	36,808	3	0	2,763	11	0	39,571	154	5	606,844
5月	107	3	501,937	27	3	26,793	134	6	528,730	10	0	46,010	8	0	7,368	18	0	53,378	152	6	582,108
6月	101	4	477,541	20	1	19,062	121	5	496,603	21	2	103,041	12	0	11,052	33	2	114,093	154	7	610,696
7月	95	1	440,305	21	0	19,341	116	1	459,646	27	3	133,857	11	0	10,131	38	3	143,988	154	4	603,634
8月	91	2	425,111	18	0	16,578	109	2	441,689	35	2	167,455	11	0	10,131	46	2	177,586	155	4	619,275
9月	79	2	369,899	18	2	17,862	97	4	387,761	43	2	204,263	12	0	11,052	55	2	215,315	152	6	603,076
10月	74	2	346,894	13	1	12,615	87	3	359,509	47	4	229,087	16	2	16,020	63	6	245,107	150	9	604,616
11月	66	3	313,296	14	1	13,536	80	4	326,832	56	1	260,866	17	1	16,299	73	2	277,165	153	6	603,997
12月	60	1	279,270	13	1	12,615	73	2	291,885	59	1	274,669	18	0	16,578	77	1	291,247	150	3	583,132
1月	59	1	274,669	13	0	11,973	72	1	286,642	67	3	317,897	16	0	14,736	83	3	332,633	155	4	619,275
2月	54	3	258,084	13	0	11,973	67	3	270,057	65	1	302,275	16	0	14,736	81	1	317,011	148	4	587,068
3月	50	1	233,260	11	0	10,131	61	1	243,391	72	3	340,902	18	0	16,578	90	3	357,480	151	4	600,871
合計	950	28	4,460,830	210	9	199,188	1,160	37	4,660,018	510	22	2,417,130	158	3	147,444	668	25	2,564,574	1,828	62	7,224,592

2018年度	介護予防支援									介護予防ケアマネジメント									総数		
	センター			委託			合計			センター			委託			合計					
	件数	初回	金額	件数	初回	金額	件数	初回	金額	件数	初回	金額	件数	初回	金額	件数	初回	金額	件数	初回	金額
4月	54	2	254,874	10	0	9,210	64	2	264,084	72	3	340,902	20	1	19,062	92	4	359,964	156	6	624,048
5月	56	2	264,076	11	0	10,131	67	2	274,207	69	3	327,099	16	0	14,736	85	3	341,835	152	5	616,042
6月	57	2	268,677	13	2	13,257	70	4	281,934	74	4	353,314	16	0	14,736	90	4	368,050	160	8	649,984
7月	59	2	277,879	14	1	13,536	73	3	291,415	68	0	312,868	15	1	14,457	83	1	327,325	156	4	618,740
8月	59	2	277,879	11	0	10,131	70	2	288,010	72	0	331,272	16	2	16,020	88	2	347,292	158	4	635,302
9月	57	2	268,677	9	0	7,647	66	2	276,324	70	4	334,910	11	0	10,131	81	4	345,041	147	6	621,365
10月	56	3	267,286	12	0	11,052	68	3	278,338	78	3	368,508	15	1	14,457	93	4	382,965	161	7	661,303
11月	55	1	256,265	11	1	10,773	66	2	267,038	79	6	382,739	17	1	16,299	96	7	399,038	162	9	666,076
12月	54	1	251,664	10	0	9,210	64	1	260,874	73	2	342,293	13	0	11,973	86	2	354,266	150	3	615,140
1月	53	3	253,483	10	1	9,852	63	4	263,335	77	4	367,117	13	0	11,973	90	4	379,090	153	8	642,425
2月	53	2	250,273	10	2	10,494	63	4	260,767	72	4	344,112	11	0	10,131	83	4	354,243	146	8	615,010
3月	58	3	276,488	13	1	12,615	71	4	289,103	70	1	325,280	13	1	12,615	83	2	337,895	154	6	626,998
合計	671	25	3,167,521	134	8	127,908	805	33	3,295,429	874	34	4,130,414	176	7	166,590	1,050	41	4,297,004	1,855	74	7,592,433

Ⅲ、包括的支援事業（高齢者相談センターの運営）

（総括）総合相談業務：多種多様な相談に対し、適切な機関への引継ぎや問題解決に向けての対応を年間通して実施。まだ終結できていないケースもあるが順次対応しており、すべての相談に対し、漏れの無い対応を行っている。その内、新規の相談数は平成 30 年度 340 件（平成 29 年度 316 件）で月間平均が 28 件とほぼ毎日のように新しい相談を受けている状況である。（介保関連：248 件、医療関連：173 件・・・重複あり）

	包括的支援事業				介護予防支援・ケアマネジメント			
	電話	来所	訪問	計	電話	来所	訪問	計
平成 29 年度	1,100	213	434	1,747	1,141	79	1,422	2,642
平成 30 年度	1,156	240	685	2,081	1,059	104	1,623	2,786

（総括）権利擁護業務：成年後見制度等についての相談 2 件、虐待の相談 5 件があった。社会福祉士を中心にセンター内で支援の方向性を確認、長寿はつらつ課と連携・対応により早期解決につなげることができた。また、新座市内で多発している詐欺の情報を収集し、介護サービス事業所（15 事業所）へは FAX や電話で、市民（約 50 名）へは訪問やサロンへ出向いて注意喚起を継続して行うことで被害の蔓延防止に努めた。

（総括）包括的・継続的ケアマネジメント支援業務：今年度は圏域内の特定事業所加算を算定している居宅介護支援事業所との連携を意識的に行うことで、居宅介護支援事業所同士の横の繋がりが構築でき、地域としてのネットワークを構築することができ、共同で勉強会を開催するまでの体制が整備された。

Ⅳ、包括的支援事業（社会保障充実分）

（総括）在宅医療・介護連携推進事業：新座市や医師会が主催のケアサロンや他職種協働協議体への参加により、地域の医療・福祉の関係者との連携が図れ、サービスの提供にプラスに作用してきている。次年度以降もネットワークの拡大を図り、地域の住民へ還元できるように積極的に参加できるよう調整を行っていく。

（総括）生活支援体制整備事業：平成 30 年 6 月から 8 月にかけて事業の勉強会、9 月より第二層協議体として、毎月第 1 水曜日に定例開催することになった。センターより社会福祉士が 1 名コアメンバーとして参加している。地域の課題に対し、地域資源の活用で解決が図れるか、新たな地域資源の発掘が必要かなどを話し合っている。

(総括) 認知症地域推進員等設置事業：①認知症による支援困難事例に対し、ケアマネジャー・長寿はつらつ課・新座警察署と連携を図り、見守り訪問を継続して行い、GPS を 3 名申請、認知症ステッカーを 5 名申請へとつなぐことができた。②新座市認知症総合事業検討委員会へ年 2 回、認知症初期集中支援チーム情報交換会へ 12 回出席。③オレンジカフェ(新座志木中央総合病院のこぶしカフェ) へ相談者・参加者・オレンジリング所持のボランティアなどをつなぐ支援を実施。

(総括) 地域ケア会議推進事業：毎月定例の自立支援型地域ケア会議へ職員を派遣し、専門職によるアドバイスやケアプランの内容について学びを深める機会となった。ケアマネジャーの視点では見落としがちな専門的な助言を受けることで、ケアプランの内容は自立支援に資するものへと変わってきている。センター内でより情報を共有していくことで、誰が担当しても適切なプランニングができるように次年度もできる限り会議へ職員を派遣させていく。

V、任意事業

(総括) 認知症サポーター養成講座：年 3 回の講座開催。平成 30 年度は延 96 人のサポーター養成をすることができた。次年度以降も継続し、地域の認知症高齢者に対する見守り力の強化を図っていく。

開催日	参加人数	会場
平成 30 年 7 月 12 日	20 名	野火止集会所
平成 30 年 9 月 13 日	24 名	野火止公民館
平成 30 年 11 月 1 日	52 名	新座警察署

(総括) 認知症高齢者見守り訓練：平成 30 年 11 月に野火止 5 丁目集会所周辺で訓練を実施。目的は地域で困っている認知症高齢者の方へさりげなく声をかけることができるようになり、地域の見守り力の強化を図るもので、総勢 41 名が参加した。認知症高齢者役の方に参加者全員が声をかけることで学びを得てもらう内容とし、参加者からも貴重な体験ができたとの感想が聞かれ、次年度以降も開催場所や内容を検討し、地域の見守り力が向上できる機会としていきたい。

VI、その他

(総括) 民生委員・高齢者相談センターミーティング：各圏域（東・東北・野火止 5～6・野火止 7～8）の 4 つの圏域に分かれ平成 30 年 7 月に開催。40 名中 32 名の民生委員が参加され、日頃の情報交換や共有を図ることで、お互いの距離感が縮まってきている印象有り。

(総括) 認知症家族介護の交流会：年 2 回の交流会を開催。平成 30 年 6 月に 8 名、平成 31 年 1 月に 6 名と参加者は少ないものの、同じ境遇の先輩介護者からの話などためになったとの声も聞かれる。

(総括) 自主グループ立ち上げ支援：平成 30 年 12 月より、合計 7 回の支援により「上六元気会」として自主グループが立ち上がり、認知症予防教室終了者 10 名を含む 17 名の住民が参加中。

(総括) 地域密着型サービス運営推進会議：市役所と協働し、圏域内の 3 か所の認知症対応型共同生活介護へ 2 か月に 1 回（延 15 回）、1 か所の小規模デイサービスへ 6 か月に 1 回出席することで、各事業所の運営状況を把握した。また、連携を図ることで高齢者相談センターの行う事業への協力もいただける関係性を構築することができた。

(総括) 出前介護相談：地域に出向いて不特定多数の住民に対する相談会やセンターの周知活動を展開し、合計 143 名の市民に対し啓発することができた。

開催日	参加人数	内容	会場
平成 30 年 5 月 10 日	30 名	血管年齢・塩分測定会	東ふれあいの家
平成 30 年 12 月 7 日	21 名	体組成計・体力測定会	野火止集会所
平成 31 年 1 月 29 日	65 名	血管年齢について	東北コミュニケーション
平成 31 年 3 月 2 日	27 名	介護保険について	東ふれあいの家

